

2020年3月期 決算説明会

2020年5月12日

株式会社メイテック
代表取締役社長 グループCEO
國分 秀世

- 1. 2020年3月期 業績**
- 2. 新・中期経営計画[3ヶ年]**
- 3. 2021年3月期 業績予想**
- 4. ご参考資料**

- では、2020年3月期 業績、新・中期経営計画、2021年3月期 業績予想、を説明させていただきます。
- 「ご参考資料」は、のちほどご覧ください。

1. 2020年3月期 業績

- まず、2020年3月期の業績を説明します。

2020年3月期業績 グループ連結

✓ 前期比で、売上高は3.3%増収、営業利益は2.3%増益、当期純利益は3.0%の増益

(百万円未満切捨て)	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2020年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	97,736	100,995	+3,259	+3.3%	101,800	▲805
売上原価	71,701	73,823	+2,122	+3.0%	74,200	▲377
原価率	73.4%	73.1%	▲0.3%			
販売管理費	13,399	14,245	+845	+6.3%	14,700	▲455
営業利益	12,635	12,926	+290	+2.3%	12,900	+26
営業利益率	12.9%	12.8%	▲0.1%		12.7%	+0.1%
経常利益	12,643	12,975	+331	+2.6%	12,900	+75
特別損益	7	△3	▲11			
税金等調整前当期純利益	12,651	12,971	+320	+2.5%		
親会社株主に帰属する当期純利益	8,829	9,093	+264	+3.0%	8,800	+293
当期純利益率	9.0%	9.0%	—			
自己資本当期純利益率(ROE)	21.4%	21.0%	▲0.4%			
総資産経常利益率(ROA)	17.4%	17.1%	▲0.3%			

5

- グループ連結の業績です。
- 2020年3月期は、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響は、ほとんどありませんでした。
- 主要顧客の大手製造業で、技術開発投資を持続されたため、連結売上高の9割を占めるエンジニアリングソリューション事業が業績をけん引し、売上高は、前期比3.3%増収の1,009億95百万円、営業利益は2.3%増益の129億26百万円、当期純利益は3.0%増益の90億93百万円となりました。
- なお、稼働時間が予想より減少したため、売上高は予想対比で、若干下回りましたが、営業利益は販管費の費消が予想を下回ったため、ほぼ予想どおりとなりました。

2020年3月期 グループ・セグメント

- ✓ エンジニアリングソリューション事業が業績をけん引⇒前期比で売上高は3.5%増収
- ✓ エンジニア紹介事業は紹介決定数の減少等により減収減益

(百万円未満切捨て)	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
エンジニアリングソリューション事業 売上高	96,106	99,461	+ 3,355	+ 3.5%
構成比	98.3%	98.5%	+ 0.2%	
営業利益	12,075	12,492	+ 416	+ 3.5%
エンジニア紹介事業 売上高	1,762	1,639	▲123	▲7.0%
構成比	1.8%	1.6%	▲0.2%	
営業利益	560	434	▲125	▲22.5%

6

- グループ・セグメントの業績です。
- エンジニアリングソリューション事業は前期比で売上高は3.5%の増収、営業利益は3.5%の増益となりました。
- エンジニア紹介事業は、紹介決定数の減少等により、減収減益となりました。

2020年3月期業績 メイテック

- ✓ 売上高は前期比で1.7%増収、営業利益は2.2%増益、エンジニア社員数は3.3%増加
- ✓ 稼働率は前期比で▲1.1%低下⇒新卒エンジニア社員数の増加と配属先業務の厳選のため

(百万円未満切捨て)	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2020年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	74,036	75,297	+1,260	+1.7%	75,500	▲203
売上原価	54,620	55,138	+518	+0.9%	55,200	▲62
原価率	73.8%	73.2%	▲0.6%		73.1%	+0.1%
販売管理費	9,258	9,776	+518	+5.6%	10,000	▲224
営業利益	10,157	10,382	+224	+2.2%	10,300	+82
営業利益率	13.7%	13.8%	+0.1%		13.6%	+0.1%
経常利益	10,921	11,290	+368	+3.4%	11,200	+90
特別損益	△ 35	△ 2	+32			
税引前当期純利益	10,885	11,287	+401	+3.7%		
当期純利益	7,768	8,112	+343	+4.4%	7,900	+212
稼働率(全体)	97.5%	96.4%	▲1.1%		96.4%	—
稼働時間<h/day>	8.62	8.54	▲0.08	▲0.9%	8.60	▲0.06
採用数<名>	520	627	+107	+20.6%	598	+29
新卒採用数	357	418	+61	+17.1%	418	—
中途採用数	163	209	+46	+28.2%	180	+29
退職率	5.0%	5.5%	+0.5%		5.3%	+0.2%
エンジニア社員数<名>	6,923	7,150	+227	+3.3%		

7

- メイテック単体の業績です。
- 稼働人員数の増加、平均対価の上昇により売上高は前期比1.7%増収の752億97百万円、営業利益は2.2%増益の103億82百万円、当期純利益は4.4%増益の81億12百万円となりました。
- また、エンジニア社員数は前期比で3.3%の増加となりました。
- 稼働率は、2019年4月入社の新卒エンジニア社員数が前期より多かったため、前期比▲1.1%低下の96.4%となりました。
- 稼働時間は前期比で低下していますが、これは、お客さま先の働き方改革への取り組み等により時間外労働が減少したためです。

2020年3月期業績 メイテックフィルダース

- ✓ 売上高は前期比で10.6%増収、営業利益は12.1%増益、エンジニア社員数は9.5%増加
- ✓ 稼働率は前期比で0.8%の低下⇒エンジニア社員の配属先業務の厳選等のため

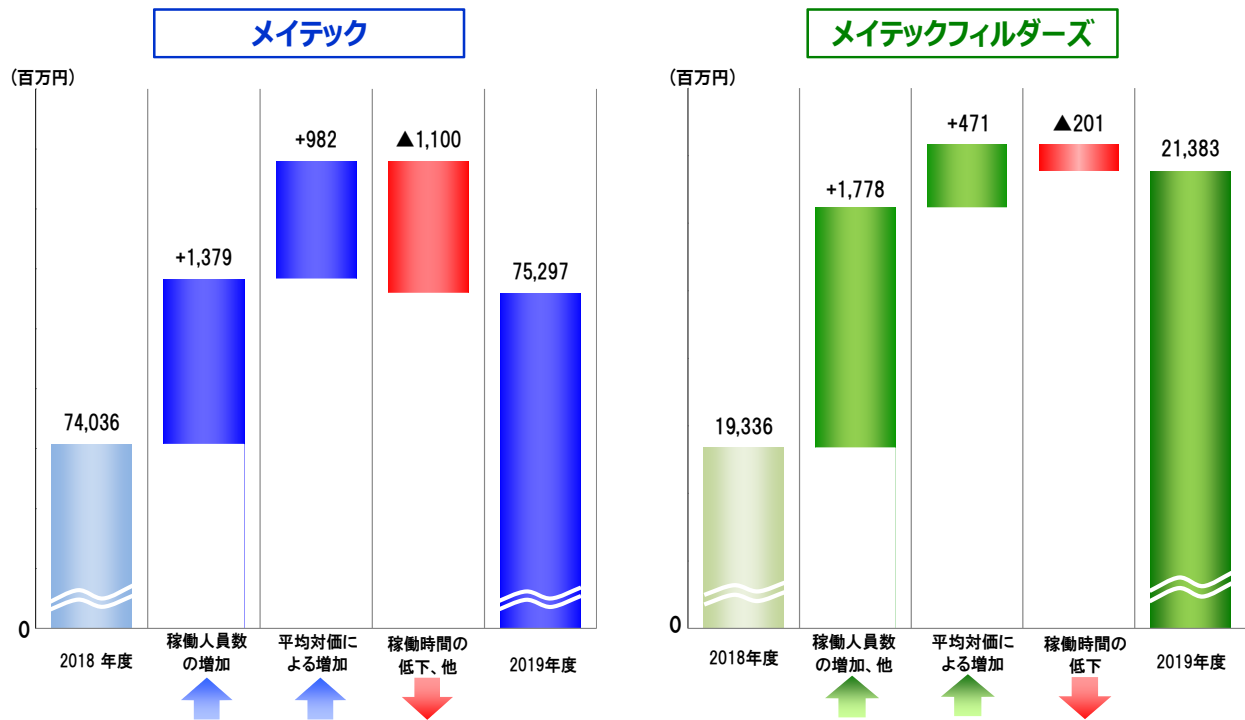
(百万円未満切捨て)	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2020年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	19,336	21,383	+2,047	+10.6%	21,500	▲117
売上原価	14,941	16,476	+1,534	+10.3%	16,600	▲124
原価率	77.3%	77.1%	▲0.2%		77.2%	▲0.2%
販売管理費	2,660	2,962	+302	+11.4%	3,100	▲138
営業利益	1,734	1,944	+210	+12.1%	1,800	+144
営業利益率	9.0%	9.1%	+0.1%		8.4%	+0.7%
経常利益	1,735	1,945	+210	+12.1%	1,800	+145
特別損益	0	0	—			
税引前当期純利益	1,735	1,945	+210	+12.1%		
当期純利益	1,291	1,461	+170	+13.2%	1,300	+161
稼働率(全体)	96.1%	95.3%	▲0.8%		95.4%	▲0.1%
稼働時間<h/day>	8.67	8.59	▲0.08	▲0.9%	8.66	▲0.07
採用数<名>	524	506	▲18	▲3.4%	498	+8
新卒採用数	203	198	▲5	▲2.5%	198	—
中途採用数	321	308	▲13	▲4.0%	300	+8
退職率	8.6%	9.1%	+0.5%		8.7%	+0.4%
エンジニア社員数<名>	2,612	2,860	+248	+9.5%		

8

- メイテックフィルダースの業績です
- メイテック同様、稼働人員数の増加、平均対価の上昇により、売上高は前期比10.6%増収の213億83百万円、営業利益は12.1%増益の19億44百万円、当期純利益は、税負担の軽減もあり、13.2%増益の14億61百万円となりました。
- また、エンジニア社員数は前期比で9.5%の増加となりました。
- 稼働率は、新卒、既存エンジニア社員ともに配属先業務の厳選等により、前期比で0.8%低下の95.3%となりました。
- 稼働時間が前期比で低下している理由は、メイテックと同様です。

売上高前年同期比較

✓ メイテック、メイテックフィルダース共に、増収の主要因は「稼働人員数の増加」、「平均対価による増加」

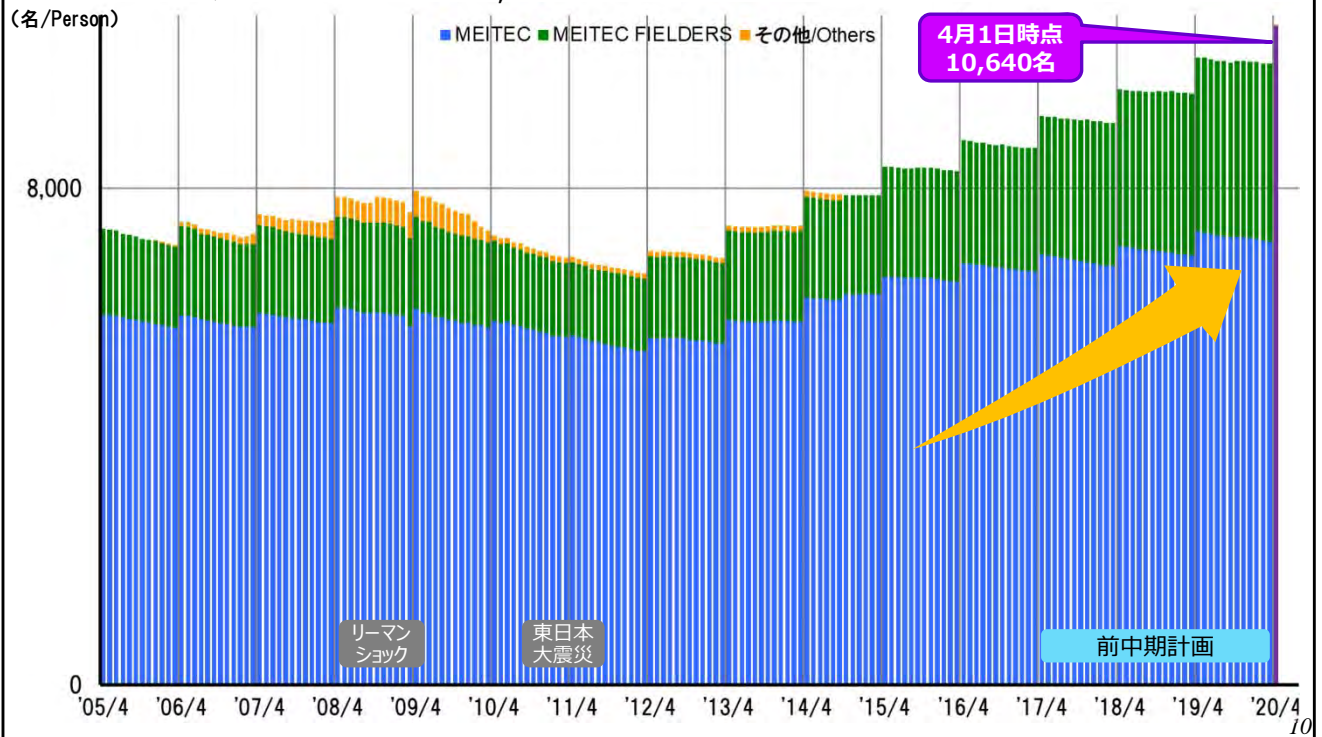


9

- メイテック、メイテックフィルダースの売上高の増減内訳です。
- 両社ともに増収の主な要因は、「稼働人員数の増加」、「平均対価による増加」であり、その影響額はメイテック、メイテックフィルダースで異なりますが、お示しの通りです。

エンジニア社員数 グループ連結

- ✓ 3月末のエンジニア社員数は10,010名（前年3月末比+475名、+5.0%）
- ✓ 4月1日時点では、過去最高の10,640名で新年度をスタート

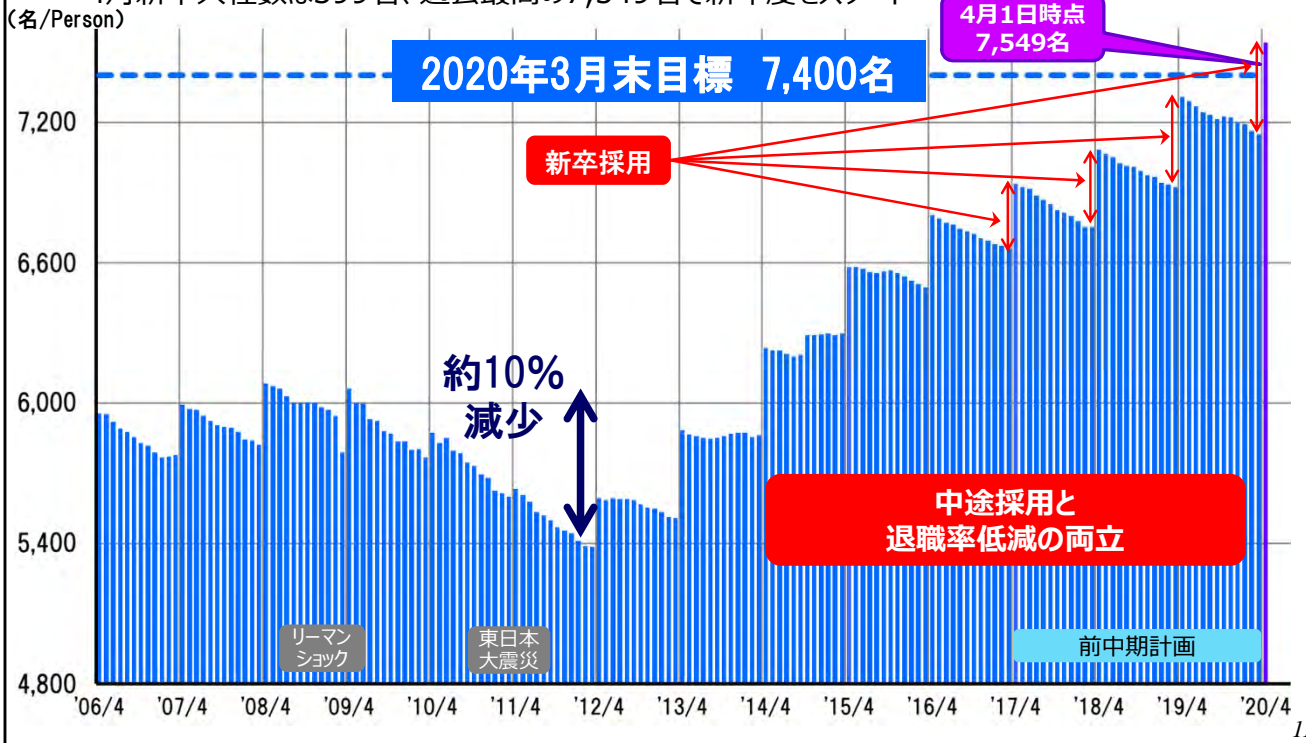


- グループのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+475名、+5.0%増の10,010名、4月1日には、新卒社員をむかえ、過去最高の10,640名で新年度をスタートしました。
- メイテック、メイテックフィルダース共に順調に増員ができております。

エンジニア社員数 メイテック

✓ 3月末エンジニア社員数は7,150名（前年3月末比+227名、+3.3%）

✓ 4月新卒入社数は399名、過去最高の7,549名で新年度をスタート

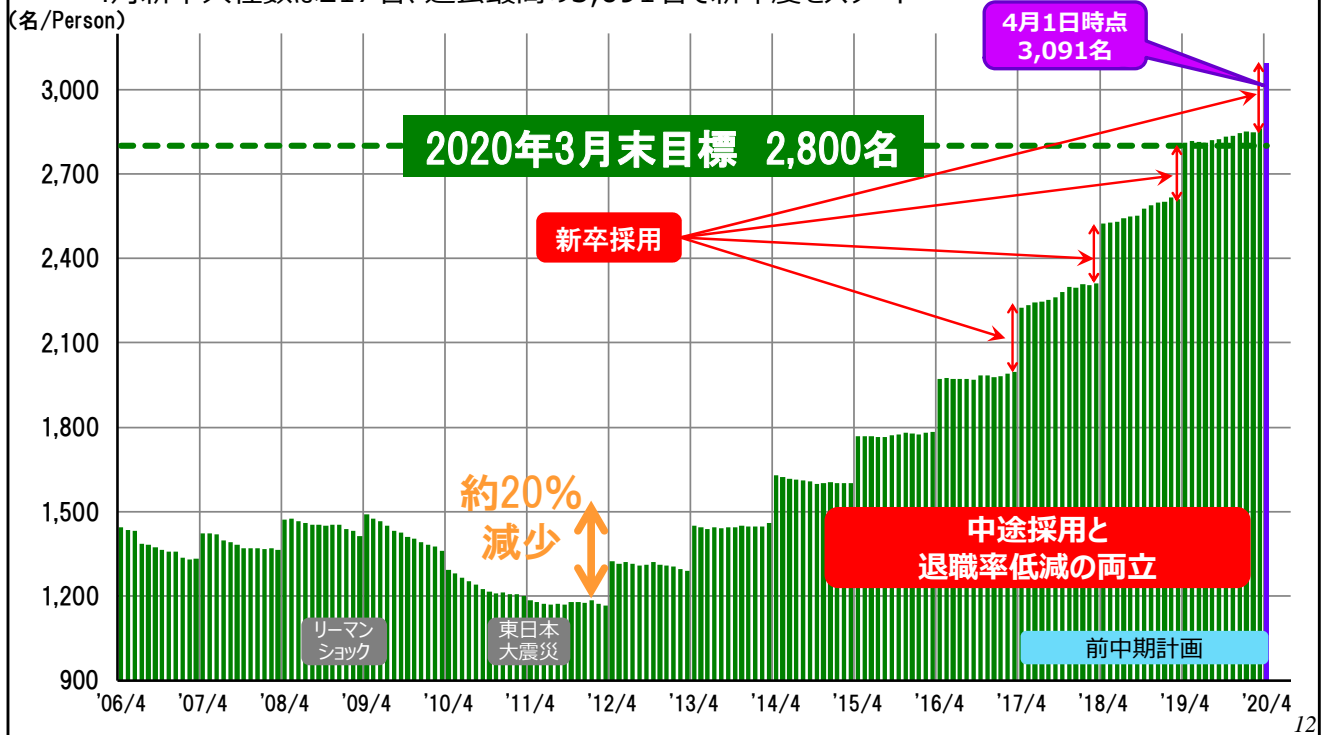


- 続いて、メイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+227名、+3.3%増の7,150名、4月1日に新卒社員399名をむかえ、過去最高の7,549名で新年度をスタートしました。

エンジニア社員数 メイテックフィルダーズ

✓ 3月末エンジニア社員数は2,860名（前年3月末比+248名、+9.5%）

✓ 4月新卒入社数は217名、過去最高の3,091名で新年度をスタート



- メイテックフィルダーズのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+248名、+9.5%増の2,860名となり、中期経営計画の2020年3月末エンジニア社員数の目標2,800名を達成することができました。
- また、4月1日に新卒社員217名をむかえ、過去最高の3,091名で新年度をスタートしました。

2020年3月期の採用実績

中途採用（2020年3月期）

- 年明けより新型コロナウイルスの発生はあったものの、メーカーをはじめ、技術者の求人ニーズに衰えは見られず、採用環境は厳しい状況が継続
- ✓ 採用基準を保持した活動を継続実施
- ✓ 生涯プロエンジニアを継続創出する事業事実の理解促進による母集団形成に注力した結果、メイテックの採用数は期初予想比+39名の209名、メイテックフィルダースは 同比+28名の308名

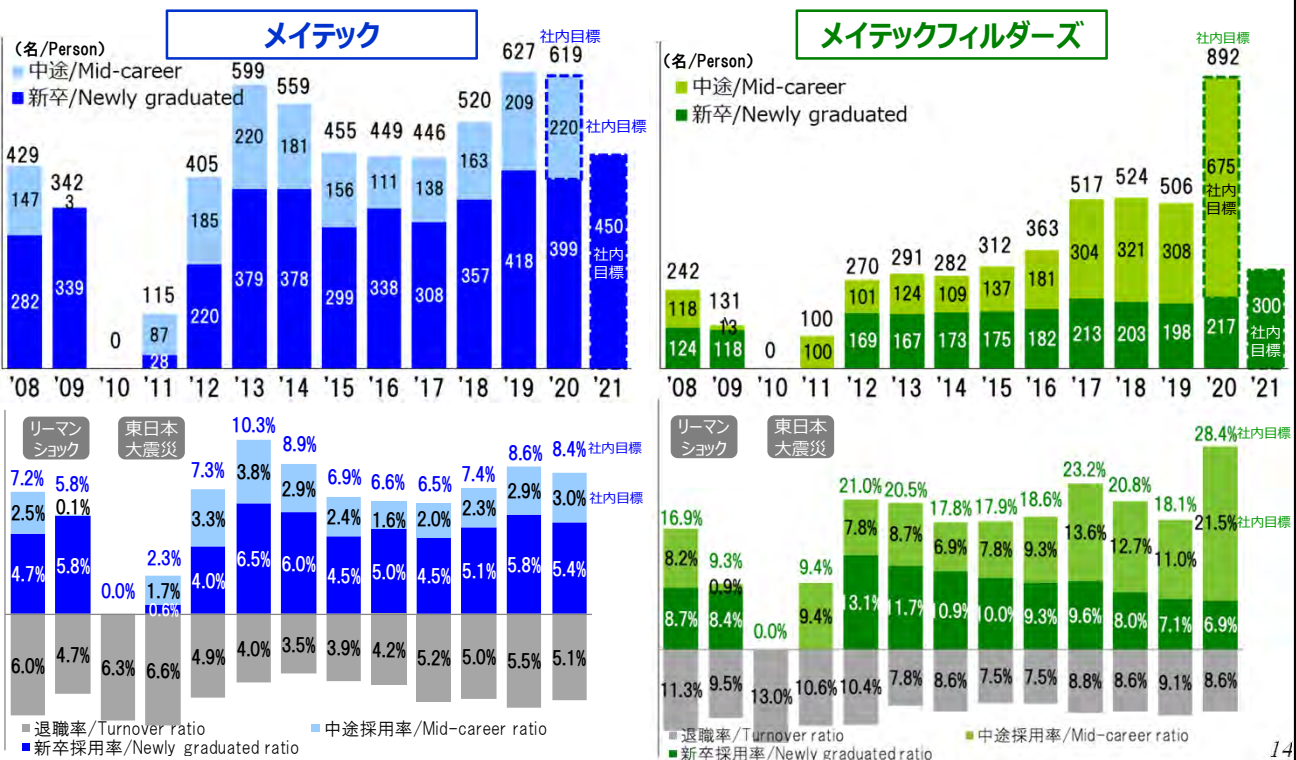
新卒採用（2020年4月入社）

- 企業の採用意欲が高まり、採用環境の厳しさが増す中、新卒世代の傾向を念頭に置き、採用基準保持を前提とした活動を実施
- ✓ 応募者の業界絞り込み早期化や、地元への就職志向が依然として強いことから、応募者の入社意欲向上に苦戦
- ✓ 採用数はメイテックで期初予想比▲21名の399名、メイテックフィルダースは同比▲23名の217名

(名)	2020年3月期(2019年度)							2021年3月期(2020年度)						
	19年4月入社 新卒採用数	中途採用数					採用数 合計		20年4月入社新卒採用数					
		期初予想	11/7公表予想	実績	期初予想比	11/7公表比	前期比	期初予想	11/7公表 内定者数	実績	期初予想比	前期比		
メイテック	418	170	180	209	+39	+29	627	+107	420	403	399	▲21	▲19	
メイテック フィルダース	198	280	300	308	+28	+8	506	▲18	240	225	217	▲23	+19	
合計	616	450	480	517	+67	+37	1,133	+89	660	628	616	▲44	—	
19年3月期比	+56	▲34	▲4	+33			+89			11/7公表比	▲12			

- 次に、採用の状況です。
- 採用市場においては、エンジニアの求人ニーズに衰えは見られず、依然として厳しい状況が継続しています。
- まず、中途採用です。
- 採用基準を保持することは変わっていません。
この採用活動を継続した結果、メイテックは
期初予想比+39名の209名、メイテックフィルダースは、
期初予想比+28名の308名となり、グループ全体では前期
比+33名の517名の採用実績でした。
- 次に、新卒採用です。
- 企業の採用意欲が高まり、採用環境の厳しが増す中、新
卒世代の傾向を念頭に置き、採用基準保持を前提とした
活動を実施しましたが、残念ながら、応募者確保に苦戦を
強いられ、期初予想比でメイテックは
▲21名の399名、メイテックフィルダースは
▲23名の217名となりました。
グループ全体では前期同様の水準で、616名の採用実績
でした。

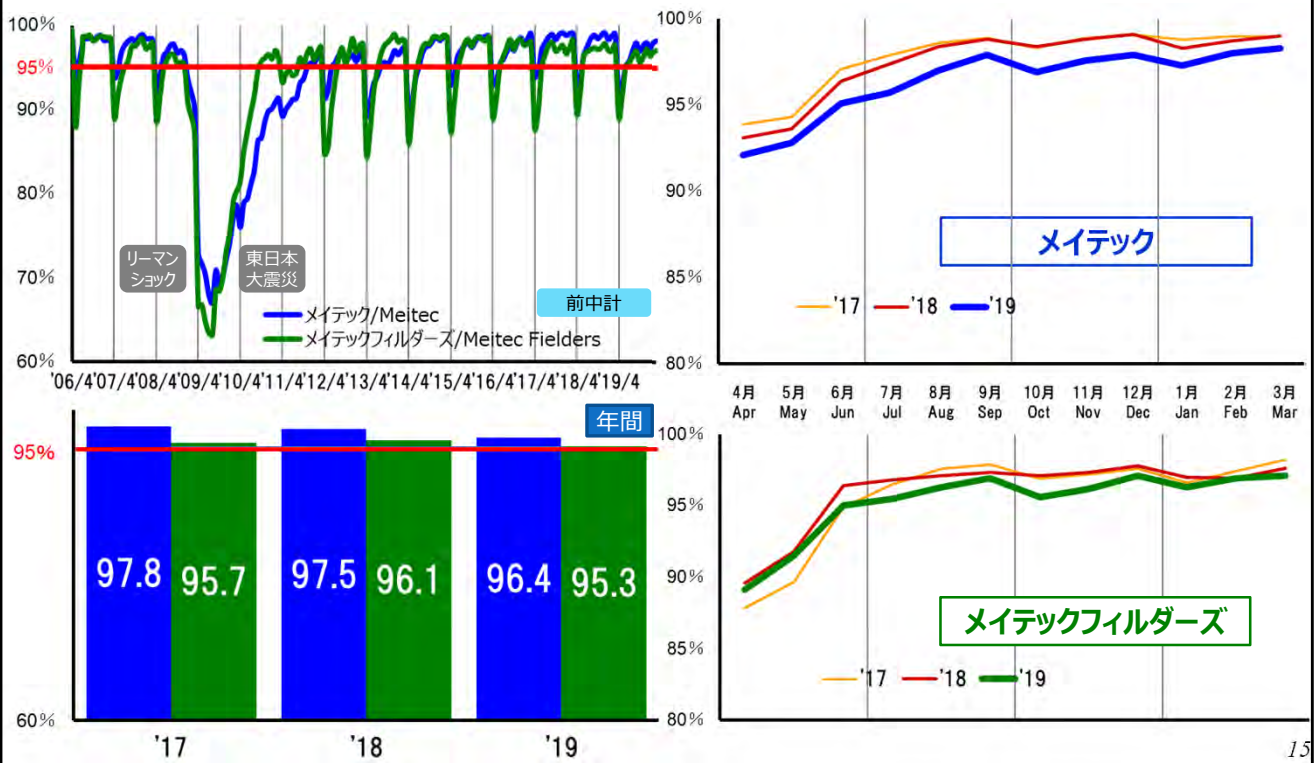
✓ 採用環境は厳しいが採用基準は保持



- 採用者数と採用率・退職率の推移です。
- メイテックの2019年度の採用率は8.6%で、伸び率は昨年より増加しました。
なお、退職率は5.5%と、引き続き低い水準を維持し、増員に寄与しました。
- メイテックフィルダーズの2019年度の採用率は18.1%で、伸び率は昨年より若干減少しました。
- 退職率は9.1%となりました。
- 2020年度の予想は、メイテックフィルダーズのキャリア採用の大幅増加を見込んでいます。
詳細については、のちほど説明します。

稼働率

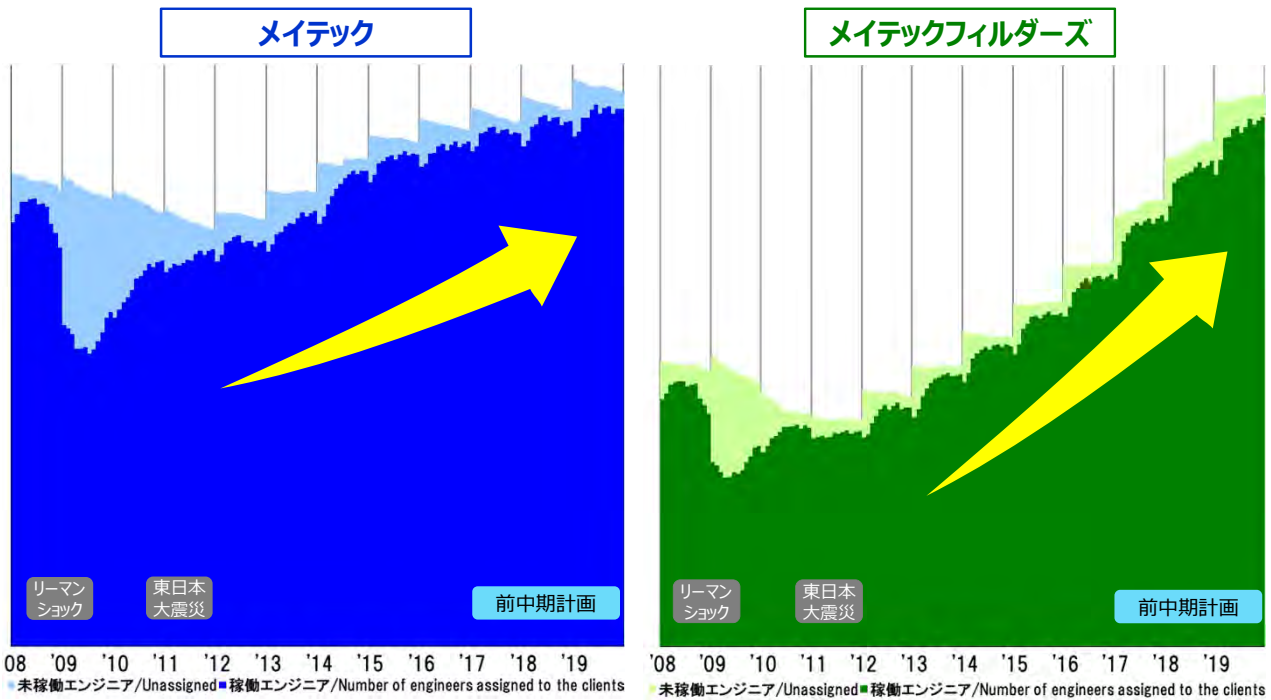
✓ 堅調な受注環境の下で稼働率は高水準を維持



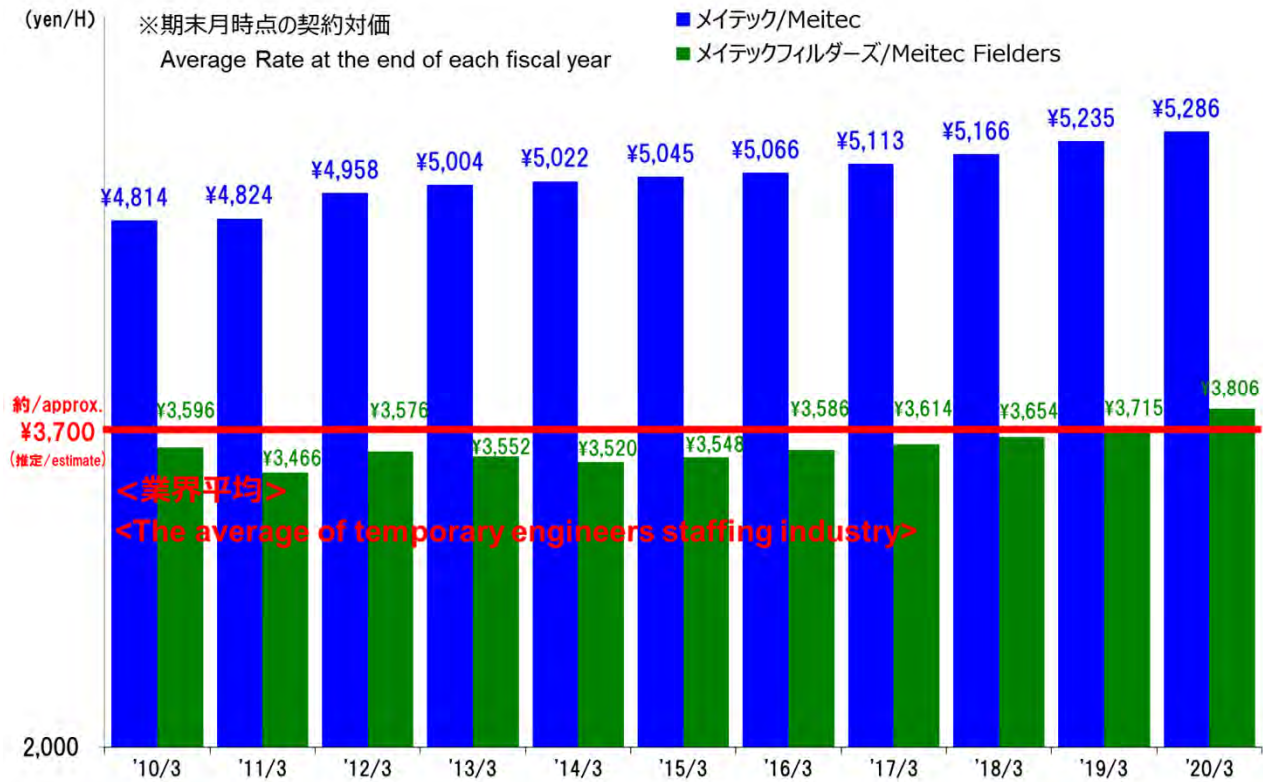
- 稼働率の推移です。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共に、堅調な受注環境の下、新卒、既存のエンジニア社員の配属が順調に進められたため、稼働率は安定的に推移しました。

稼働人員数 (売上の主要素)

- ✓ 積極採用による「エンジニア社員の増員」、受注獲得と早期配属による「高稼働の維持」を両立し、稼働人員数を着実に伸長



- 稼働人員数の推移です。
- 「エンジニア社員の増員」「高い稼働率の維持」が達成できたため、稼働人員数は順調に伸びています。

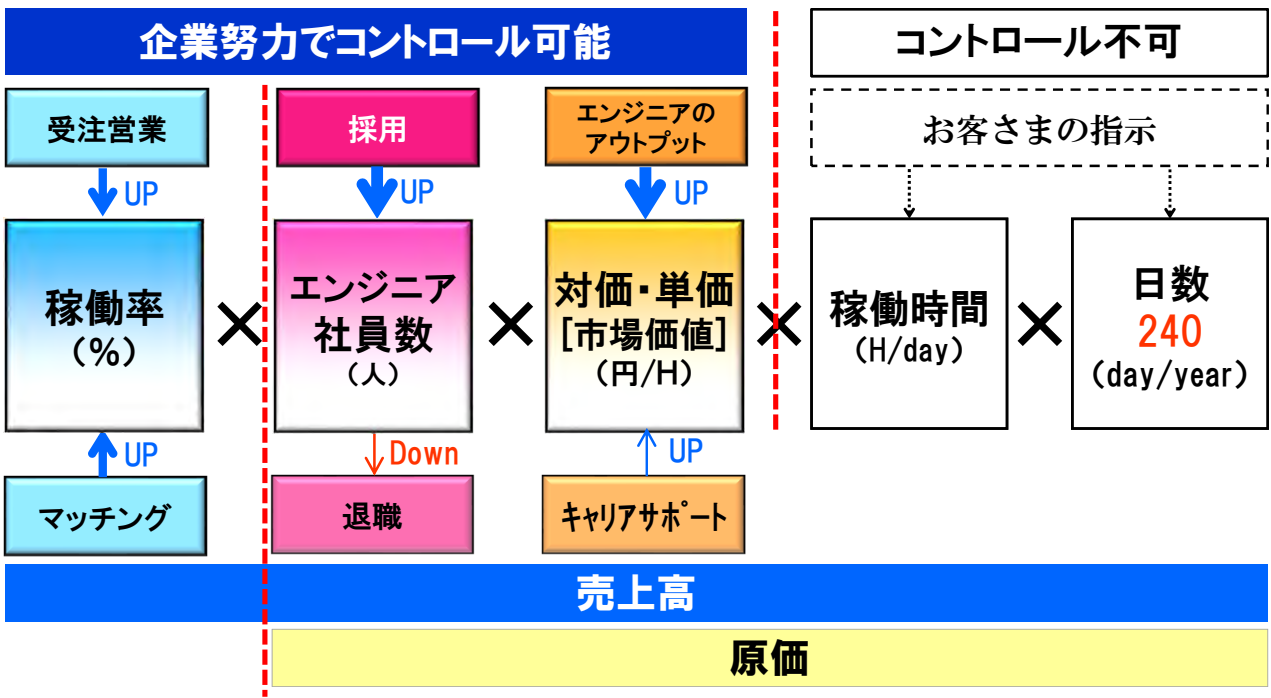


17

- 対価の推移です。
- 高い品質を維持することにこだわり、メイテックの対価は前年同様、業界平均を大きく超える5,300円弱の水準まで高めることができました。
- これを維持するためには、採用基準の保持は不可欠であると改めて認識しております。
- メイテックフィルダーズの対価は、3,800円以上で、業界平均を上回りました。
- これからも需要と供給の関係に拠る対価獲得では無く、
- エンジニア一人ひとりの高いアウトプットに基づいた対価を獲得できる状態、すなわち「適正対価の獲得」に努めていきます。

売上高・原価の概要(派遣型)

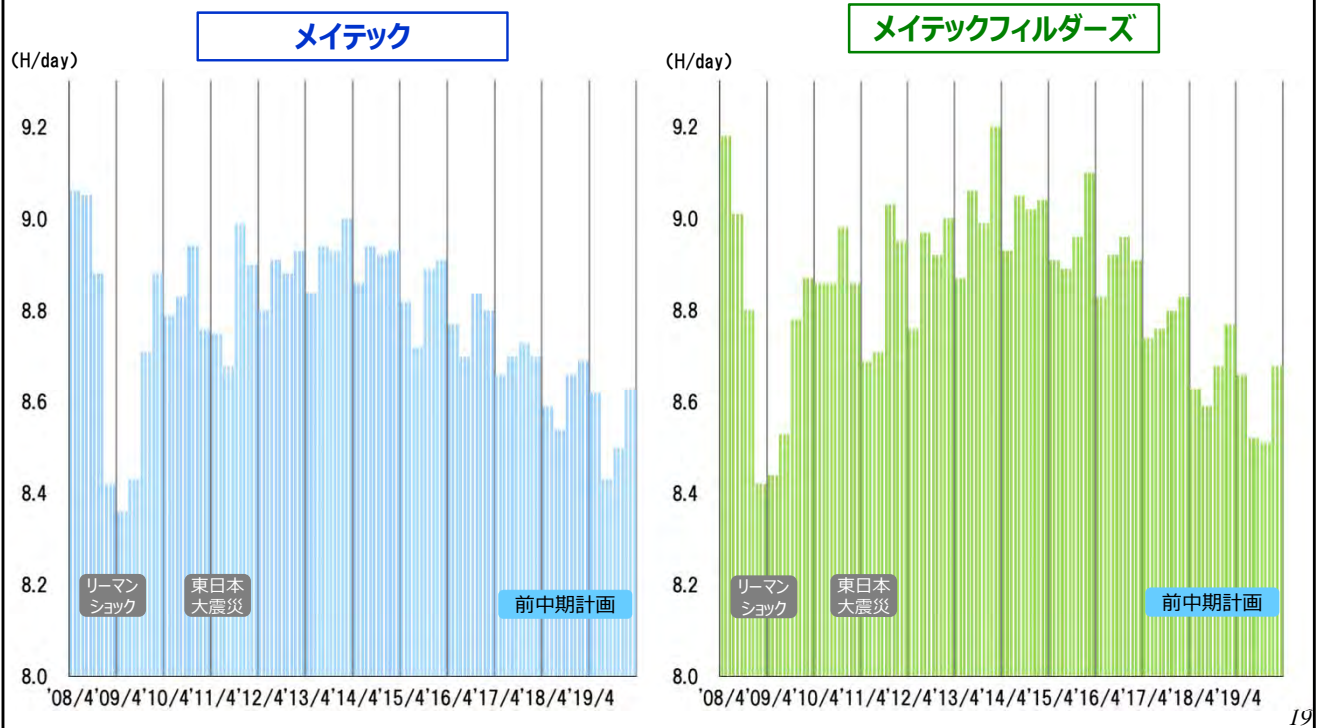
✓ 「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵



18

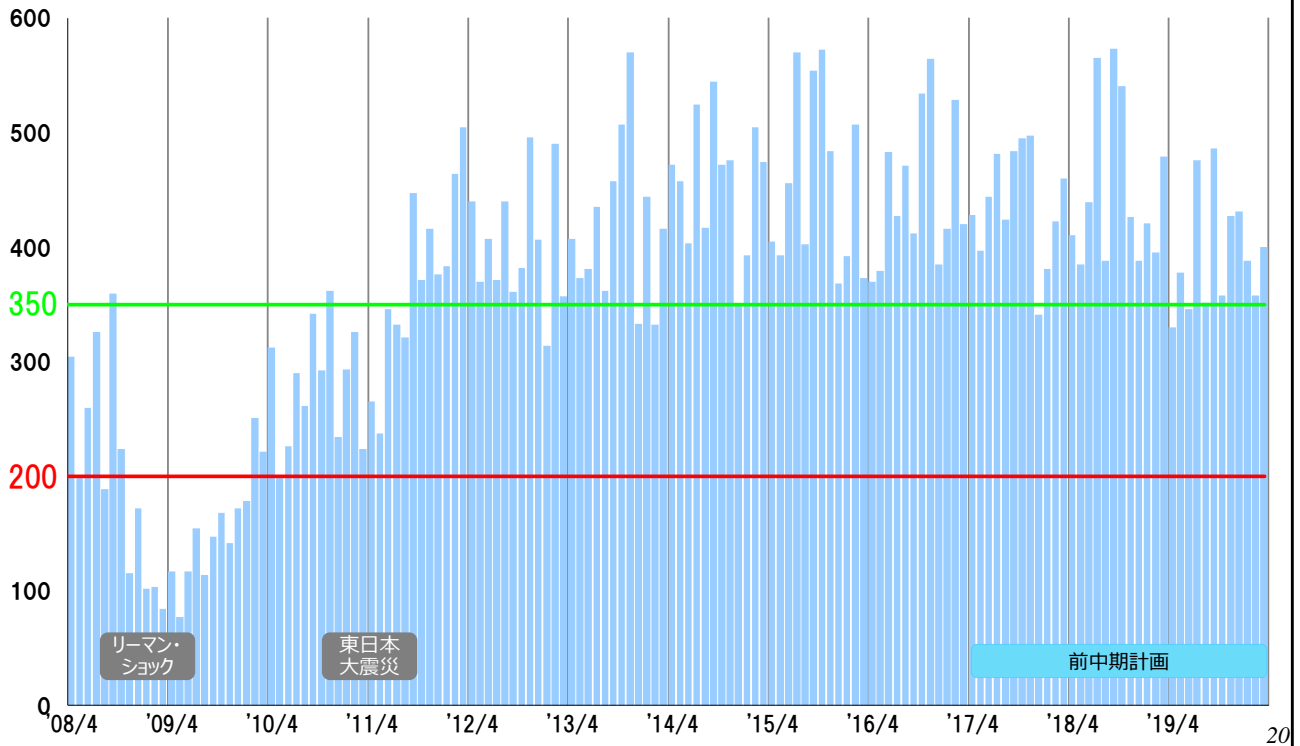
- 派遣型エンジニアリングソリューション事業の売上高・原価の構成要素は御覧の通りです。

✓ 時間外労働の減少を背景に前年比で低下



- 次にノンコントロールの稼働時間の推移です。
- 時間外労働の減少を背景に、前期比では、メイテック、メイテックフィルダース共に、0.9%減少しました。
- 稼働時間は、お客さま先の業務指示でございますので、ノンコントロールではありますが、稼働時間0.1時間の変動で売上高は約1%変動することから、業績影響の大きい指標の一つとして、今後も継続して注視していきます。

✓ メイテック単体の月間新規受注は、350件/月を超える水準を維持



- 月間新規受注動向の推移です。
- 月間350件を超える新規受注件数をいただければ堅調、一方、200件を下回る水準は危険な状態、と判断してきました。
- 現時点では新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で不透明感がございます。
- しかしながら、長い視点で、お客さまは技術開発投資を継続しているということを実感しています。

お客様の売上TOP10 メイテック

✓ お客様（個別企業）に関する事項および具体的計数の公表は差し控えます

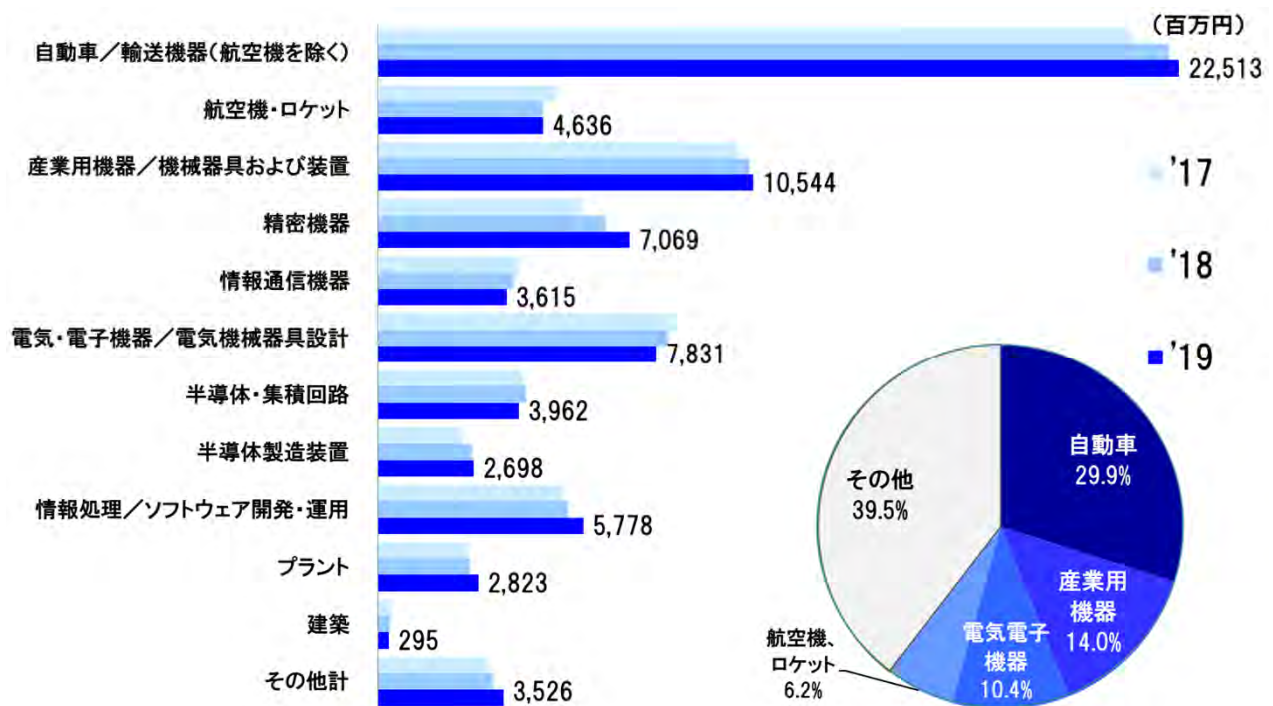
(百万円)

2015年3月期（2014年度）			2019年3月期（2018年度）			2020年3月期（2019年度）		
1	三菱重工業 様		1	デンソー 様		1	三菱重工業 様	
2	キヤノン 様		2	三菱重工業 様		2	デンソー 様	
3	デンソー 様		3	パナソニック 様		3	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様	
4	パナソニック 様		4	トヨタ自動車 様		4	パナソニック 様	
5	トヨタ自動車 様		5	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様		5	トヨタ自動車 様	
6	ニコン 様		6	キヤノン 様		6	ニコン 様	
7	川崎重工業 様		7	ニコン 様		7	デンソーテン 様	
8	オムロン 様		8	本田技術研究所 様		8	キヤノン 様	
9	ソニー 様		9	オリンパス 様		9	日本製鉄 様	
10	東芝 様		10	オムロン 様		10	SUBARU 様	
トップ10社合計	17,170	26.5%	トップ10社合計	17,910	24.2%	トップ10社合計	17,720	23.5%
トップ20社合計	23,690	36.6%	トップ20社合計	25,607	34.6%	トップ20社合計	26,048	34.6%
その他	40,984	63.4%	その他	48,430	65.4%	その他	49,249	65.4%
合計	64,675	100.0%	合計	74,036	100.0%	合計	75,297	100.0%

21

- メイテックのお客様の売上TOP10です。
- 順位に変動はありますが、TOP10圏内に入るお客様に大きな変化はありません。
- お客様の中での新しいプロジェクトや技術開発テーマに即した成長セクター、分野、新しい技術領域へ意図的に当社エンジニアのローテーションを図りながらも、技術力を高めつつ、お客様に対する付加価値を高めていく取り組みを続けていきます。
- 特定のお客様に偏（かたよ）らず、幅広くサービスを展開することは、まさしくメイテックの強みですので、これからもその強みを高めてまいります。

✓ お客さま（個別企業）別の内訳や見通しの公表は差し控えます（計数はご参考資料に掲載）



22

- 業種別の売上高です。
- 前年度に引き続き、「自動車関連」が伸びています。
- 広い分野や業種のお客さまと取引させて頂くことにより、
- 意図的にエンジニアを他の業界や分野にシフトすることが可能であり、デジタル化、技術革新といった、加速する技術分野におけるお客さまの要求、要請にも対応し続けられるよう、努めてまいります。

2. 新・中期経営計画〔3ヶ年〕

中期経営計画の記述に関する注意事項

1. 中期経営計画を開示する本資料中の定量目標は、業績予想とは異なります。新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化懸念が業績に与える影響は、反映していません。
2. 本資料中の定量目標などは、あくまで、経営チームの強い意志に基づく中長期的な戦略を示すものに過ぎません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
3. 正式な業績予想は証券取引所規則に基づく決算短信の開示をご参照下さい。

23

- 続いて、新・中期経営計画を説明します。
- 前中期経営計画Next Stage1は、今年3月末で終了し、4月からは新しい中計が始まります。
- 今回、新・中期経営計画の定量目標等は、のちほど説明する業績予想とは異なります。
- 経営チームとして強い意志をもって、中長期的な戦略を示すものであり、新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化懸念が業績に与える影響は反映しておりません。
- 経営チームとしての強い意志についてご説明申し上げると、当社のミッションは、技術を通じて、新しい価値創造により、世の中の課題解決に貢献していくということであり、不変です。したがって、どのような環境下であったとしても、新しい価値創造のイノベーションを提供する、そして、雇用を守りながら、攻めの事業転換を図っていくという企業体力を付けて、持続的成長に取り組んでいきたいと考えています。
- 2008年のリーマンショック以降、当社は、「常に危機は起こる」ということを前提に、当社の競争優位性を磨き、雇用を守るための財務体質を強化してまいりました。したがって、この4月からの3ヶ年については、改めて、環境に左右されない攻めを示していきたい、という想いで、今回の中計を発表させていただきました。

✓ 2017年に掲げた当初目標は、概ね達成

		中期計画 当初目標	2019年度 実績	達成度			中期計画 当初目標	2019年度 実績	
グループ 連結	売上高	1,000億円	1,009.9億円	+1%	メイテック	売上高	780億円	752.9億円	▲3%
	営業利益	130億円	129.2億円	▲1%		営業利益	100億円	103.8億円	+4%
	営業利益率	13.0%	12.8%	▲2%		営業利益率	13.0%	13.8%	+6%
	当期純利益	90億円	90.9億円	+1%		エンジニア数	7,400名	7,150名	▲3%
	ROE	20.0%	21.0%	+5%	メイテック フィルダース	売上高	200億円	213.8億円	+7%
						営業利益	17億円	19.4億円	+14%
				営業利益率		9.0%	9.1%	+1%	
				エンジニア数		2,800名	2,860名	+2%	

24

- では、Next Stage1、前中期計画の総括です。
- 2017年に掲げた当初目標数値は、おおむね達成することができました。
 売上高は1,000億円台に突入し、グループのエンジニア社員数も1万名を超えることが出来ました。
- 創業以来、過去最高の水準に達しましたが、改めてこの3ヶ年につきましては、より攻めの姿勢で取り組んでいきたいと考えております。

メイテックグループ中期経営計画 [2020 - 2022]

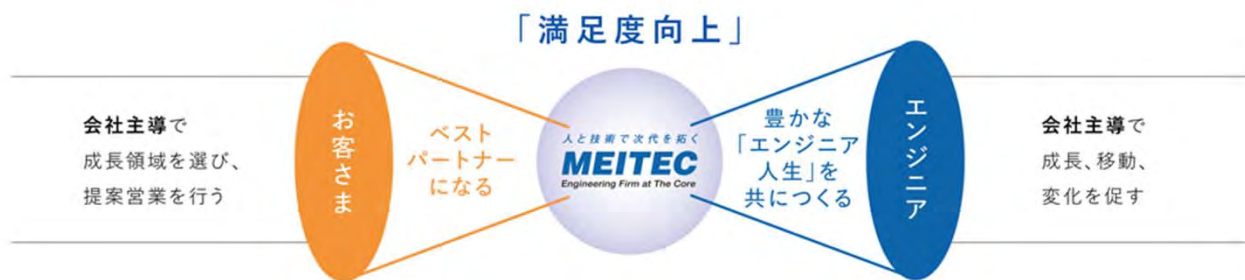
The Transformation

社会、お客さまの変化、進化に合わせて、
従来の延長線ではなく
自分たち自身が「事業モデルを変革」し、
今まで培った品質を維持し、
グループ一体で高付加価値を追求し、
「唯一無二」の企業へと変革します。

25

- 新中期経営計画の名称は、「The Transformation」です。社会、お客様の変化や進化に併せて、従来の延長線ではなく、「事業モデルを変革」し、今まで培った品質を維持しながら、グループ一体で高付加価値を追求し、そして世の中にとって「唯一無二」の企業グループへと変革していきたい。そういった想いです。
- 世の中の技術革新のスピードはますます高まっており、加速しています。我々は改めて社会課題に貢献すべく、高付加価値を追求し、企業として「唯一無二」を目指してまいります。

お客さまとエンジニアの さらなる「満足度向上」へ



26

- 追求すべき目的は、不変です。
- お客さま、エンジニアのさらなる満足度の向上を追求するため「The Transformation」に取り組んでいきます。

グループ一体で高付加価値を追求して事業モデルを改革

基本方針	売上拡大		利益率向上	
	収益増強			
重点施策	✓ 最上級Primeのエンジニアリングソリューションを提供 経営トップ直轄で最上級Primeの ・エンジニア集団を創る ・技術営業チームを築く	✓ 設計開発のデジタル化を大きく増やす ・量的拡大とデジタル化・成長領域への移動を加速 ・制度や基準を迅速果断に革新	✓ 地域(エリア・ブロック)へ権限を委譲	✓ オペレーションの標準化を進め、効率を向上 ・業務要件を再定義 ・デジタル化の促進

27

- 基本方針、重点施策をご説明致します。
- グループ一体で高付加価値を追求するため、
 - ✓ 事業モデルを変革していく。
 - ✓ 今までの延長ではなく、市場ニーズに即して、今まで以上にお客さまに対して、高い付加価値を提供させていただく。
 - ✓ あるいは世の中のエンジニアが、自身のキャリア形成にメイテックグループの中で取り組んでいける状態を創っていく。
 これらをポイントとしています。従って、基本方針は「売上拡大」「収益増強」「利益率向上」を図っていくこととしました。
- お示しの重点施策は4つです。
- 最上級プライムのエンジニアリングソリューションを提供します。今、メイテックは、業界においてハイエンド領域を任されています。しかしながら、お客様の課題解決をする上では、従前の領域だけではなく、よりハイエンド、すなわちプライム領域の集団を作り、サービスを提供していくということに取り組んでいきます。
- また、設計開発のデジタル化という、大きなテーマの中で各企業が技術開発投資を行っています。それを支援できるようなサービス展開を図っていきます。
- そして、スピードアップするために地域(エリア、ブロック)へ権限を委譲して取り組んでいきます。
- そのためにも、オペレーションの標準化を進め、効率化を図っていきます。
- 以上、4つの重点施策に取り組んでいきます。

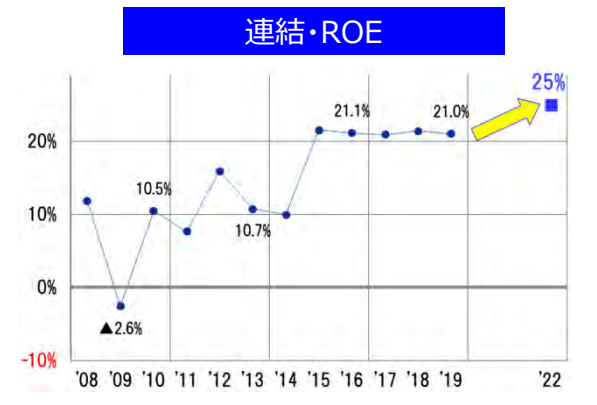
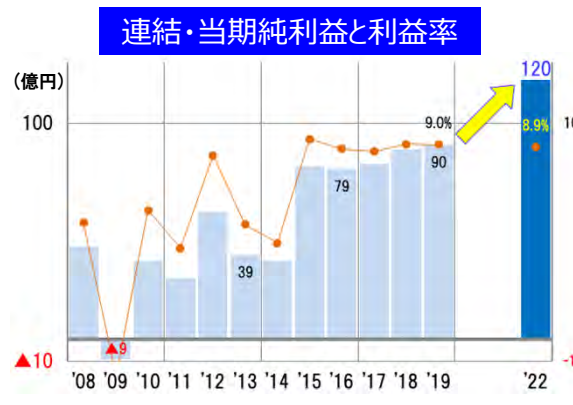
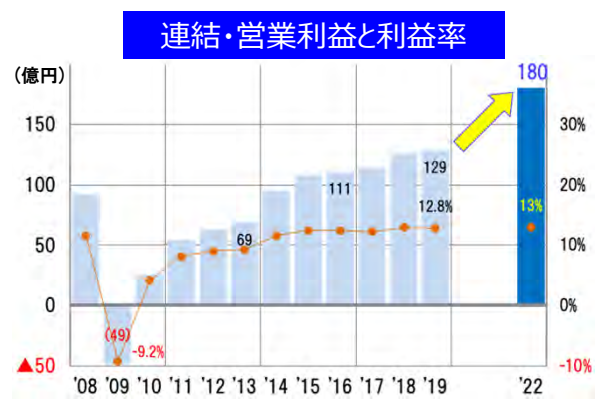
2022年度 収益目標	グループ連結	エンジニアリングソリューション事業		エンジニア 紹介事業
		メイテック	メイテックフィルダーズ	
売上高	1,350億円	900億円	400億円	25億円
営業利益	180億円	135億円	36億円	8億円
営業利益率	13%	15%	9%	32%
当期純利益	120億円			
ROE	25%以上			

Page23：中期経営計画の記述に関する注意事項
 本資料中の定量目標などは、あくまで、経営チームの強い意志に基づく中長期的な戦略を示すものに過ぎず、業績予想ではありません。

- 3ヶ年の収益目標です。2022年度の収益目標はグループ連結では、売上高1,350億円、営業利益は180億円、営業利益率は13%、当期純利益は120億円、ROEは25%以上 としました。
- 過去最高水準の売上、営業利益、営業利益率を目指します。

収益目標

参照Page23：中期経営計画の記述に関する注意事項



- 売上高、営業利益、当期純利益とそれぞれの利益率、ROEの過去実績と今回目標の水準はご覧の通りです。

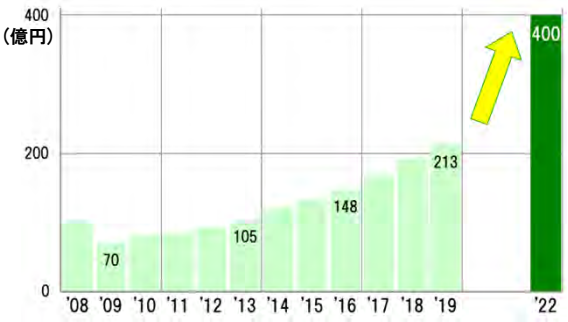
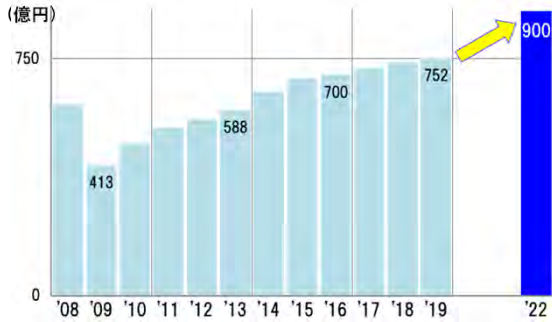
メイテック

高付加価値を追求して事業モデルを改革
＜コア技術を売る＞

メイテックフィルダース

ミドル領域No.1を目指し
スピードアップ（拡大・移転・決断）に邁進

売上高



エンジニア社員数



- 今後、3ヶ年で、メイテックは売上高900億円、エンジニア社員数8,000名、メイテックフィルダースは売上高400億円、エンジニア社員数6,000名を目指します。

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

E 環境	S 社会	G ガバナンス
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <ul style="list-style-type: none"> 技術革新を推進し、環境・エネルギー等の課題解決に貢献 技術革新とイノベーションを推進し、産業と経済成長に貢献 	<p>8 働きがいも経済成長も</p>  <ul style="list-style-type: none"> プロフェッショナルな労働市場の創出を通じて、持続可能な経済成長に貢献 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>高度な技術教育と生涯学習の促進</p> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  <p>国籍・性別・年齢に関わらず、公平な「機会と場」の提供</p> <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  <p>グループCG方針 社員行動規範の遵守徹底</p>

31

- ここでは改めて、メイテックグループが社会課題に対して、如何に貢献していくのかということを確認にさせていただきます。
- 従前より事業を通じて、お客さまや社会に貢献していくことを掲げ、取り組んできました。
- この中計期間におきましても、これからも、「人と技術」でものづくりの革新を担い、高付加価値を提供し、社会課題の解決に貢献してまいります。
- 以上、3ヶ年の中期計画をご説明いたしました。

3. 2021年3月期 業績予想

- 2021年3月期の業績予想について説明します。

2021年3月期業績予想 グループ連結

- ✓ 先行き不透明の為、通期の業績予想は公表を見送り、おおむね合理的に見積れる第2四半期累計までの業績予想を公表
- ✓ 中期計画の達成と持続的な成長に向けて、積極採用は継続方針
- ✓ 前期比で、新入社員の配属遅延を見込み、第2Qから前期比マイナスを予想

(百万円未満切捨て)	'21年3月期 公表予想	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	前期比増減率		累計
					1Q	2Q	
売上高	非公表	49,600	+22	+0.0%	+4.4%	▲4.1%	+0.0%
売上原価		37,100	+638	+1.8%			
販売管理費		7,900	+786	+11.1%			
営業利益		4,600	▲1,403	▲23.4%	+5.2%	▲44.7%	▲23.4%
営業利益率		9.3%	▲2.8%				
経常利益		4,600	▲1,420	▲23.6%			
親会社株主に帰属する当期純利益		3,000	▲970	▲24.5%			
1株当たり当期純利益(EPS)	非公表	108.69	▲34.22				

35

- グループ連結の業績予想です。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、受注環境の先行きが非常に不透明であるため、今回は、通期の業績予想公表は見送り、合理的に見積もれる第2四半期累計までの予想としております。
- 直近の稼働状況や第2四半期までの見通しを踏まえつつ、新入社員の配属が例年より遅れること等を見込み、売上高は前期とほぼ同額の496億円、営業利益は前期比▲23.4%減益の46億円、
- 四半期純利益は前期比▲24.5%減益の30億円としました。

2021年3月期業績予想 メイテック

- ✓ 先行き不透明ながら、中期計画の達成と持続的な成長に向けて、積極採用は継続方針
- ✓ 平時との比較で、新入社員の配属遅延を見込み、第2Qから前期比マイナスを予想

(百万円未満切捨て)	'21年3月期 公表予想	前期比 増減額	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	前期比増減率		
						1Q	2Q	累計
売上高	非公表		36,500	▲476	▲1.3%	+2.9%	▲5.3%	▲1.3%
売上原価			27,600	+292	+1.1%			
原価率			75.6%	+1.8%				
販売管理費			5,200	+292	+6.0%			
営業利益			3,700	▲1,062	▲22.3%	+1.3%	▲40.5%	▲22.3%
営業利益率			10.1%	▲2.8%				
経常利益			4,600	▲1,061	▲18.7%			
当期純利益			3,200	▲797	▲19.9%			
稼働率(全体)		非公表		91.1%	▲4.0%			
稼働時間<h/day>				8.52	—			
採用者数	619	▲8						
新卒採用数	399	▲19	2021年4月入社 新卒採用目標数	20年4月 実績比				
中途採用数	社内目標 220	+11						
退職率	5.1%	▲0.4%	450	+51				

36

- メイテック単体の業績予想です。
- 売上高は前期比▲1.3%減収の365億円、営業利益は前期比▲22.3%減益の37億円としました。
- 販管費の増加理由は、攻めの採用関連費用の増加を見込んでいるためです。
- これらを背景として、四半期純利益は前期比▲19.9%減益の32億円としました。
- なお、稼働率は、直近の稼働状況や見通しを踏まえつつ、新入社員の配属が例年より遅れること等を見込み、前期比▲4.0%の減少を見込んでいます。

2021年3月期業績予想 メイテックフィルダーズ

- ✓ 高い目標を掲げた中期計画の達成に向けて、積極採用をさらに加速する方針
- ✓ 新入社員の配属遅延と中途採用の増加を見込み、第2Qから前期比マイナスを予想

(百万円未満切捨て)	'21年3月期 公表予想	前期比 増減額	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	前期比増減率		累計
						1Q	2Q	
売上高	非公表		10,600	+160	+1.5%	+7.8%	▲4.5%	+1.5%
売上原価			8,300	+204	+2.5%			
原価率			78.3%	+0.8%				
販売管理費			1,700	+286	+20.2%			
営業利益			600	▲330	▲35.5%	+11.6%	▲65.0%	▲35.5%
営業利益率			5.7%	▲3.2%				
経常利益			600	▲330	▲35.5%			
当期純利益			400	▲244	▲37.9%			
稼働率(全体)	非公表		86.3%	▲7.7%				
稼働時間(h/day)	非公表		8.59	—				
採用者数	892	+386	2021年4月入社の 新卒採用目標数		20年4月 実績比			
新卒採用数	217	+19						
中途採用数	社内目標 675	+367						
退職率	8.6%	▲0.5%	300		+83			

37

- メイテックフィルダーズの業績予想です。
- 売上高は前期比+1.5%増収の106億円、営業利益は、前期比▲35.5%減益の6億円としました。
- 販管費は、採用数増加を目指しているため、前期比+20.2%の増加を見込んでいます。
- 四半期純利益は、これらの要因に加え、前期に発生した税負担の軽減による影響を見込んでいないため、前期比▲37.9%減益の4億円としました。

2021年3月期の採用目標

中途採用（2021年3月期）

- 新型コロナウイルスの影響により、各社の採用状況の見通しは不透明
- ✓ 企業耐力は強固であることから、足元では、応募者の安全・安心配慮を最優先しつつ、採用基準を保持した活動を継続実施
- ✓ 生涯プロエンジニアを継続創出する事業事実の理解促進による応募者集客力を強化

新卒採用（2021年4月入社）

- 近年の売り手市場継続の中、企業の採用活動が早期化しており、採用競争の激化が進む
- ✓ インターンシップ等を通じ、生涯プロエンジニアとしての働き方を学生に訴求
- ✓ 応募者の安全確保を第一にしつつ、応募者志向（主体性など）を大切に採用活動を継続
- ※ 設計・開発部門で最先端技術や最新の製品開発に携わるソリューション提供のため、採用基準は下げない

(名)	2021年3月期					2022年3月期	
	20年4月入社新卒採用数 (実績)	中途採用数		採用数合計		21年4月入社新卒採用数	
		〈社内目標〉	前期比	〈社内目標〉	前期比	〈社内目標〉	前期比
メイテック	399	220	+11	619	▲8	450	+51
メイテック フィルダース	217	675	+367	892	+386	300	+83
合計	616	895	+378	1,511	+378	750	+134

38

- 続いて、採用目標です。
- 緊急事態宣言を受けまして、新卒採用・中途採用共に、応募者の安全・安心への配慮を最大限優先しつつ、これまで通り採用基準を保持した活動に注力して参ります。
- 中途採用目標数は、メイテックは220名、メイテックフィルダースは675名と、大幅増加を目論んでいます。
- 採用競合となるメーカー各社の採用の見通しは不透明ですが、先ほどご説明した新中期計画で掲げているとおり、メイテックフィルダースにおいてはミドル領域No.1を目指し、今までよりも格段に高い採用目標数としています。
- 2021年4月入社の新卒採用についても、前期を上回る採用目標数としています。
新聞記事によると、大卒採用目標数ランキングでは、日本企業全体では22番、理工系学生だけでは3番目の規模であり、かなり大きな水準と認識しています。
- 高い目標ではありますが、当社グループにおける、生涯プロフェッショナルという働き方の魅力を訴求しながら、多くの方々をメイテックグループの一員としてお迎えできるように、達成していきたいと思っております。

利益配分に関する基本方針

✓ 新中期計画の利益配分は、資本と資金の質と量の充実度を踏まえ、既定方針に従う

2018年11月改定
2017年5月改定
2011年5月改定
利益配分方針

1. 自己資本の“質と量”が充実していること
2. 資金残高が事業運営上の必要資金*を上回っていること
(*連結売上高の月商3ヶ月分)

総還元性向：100%以内を原則

配当

業績連動型配当：連結当期純利益の50%以上

最低限の配当：連結株主資本配当率(DOE)5%

**自己株式の
取得・
保有・消却**

取得：総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施

保有：発行済総数の5%を上限

消却：上限超を当期末までに消却

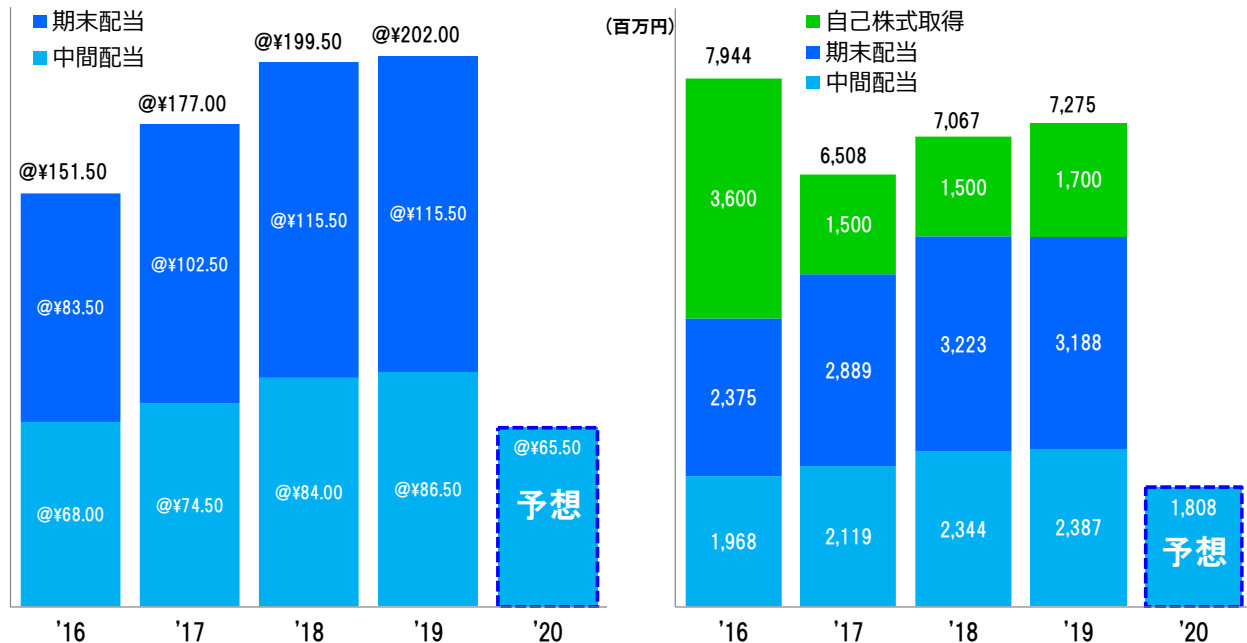
✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

39

- 続いて利益配分についてです。
- 前回の中期計画では総還元性向を80%を計画値としてまいりました。
- 現時点で、自己資本の“質と量”は概ね充実しているため、基本方針に則して総還元性向は、100%以内と考えています。

利益配分の実績と予想

- ✓ 2019年度の期末配当は115円50銭、中間配当86円50銭と合わせて年間配当金は202円
- ✓ 公表する第2四半期累計までの業績予想に基づき、配当性向60%で中間配当予想は65円50銭
- ✓ 自己株式取得は年度内に実行予定ながら時期は未定



40

- 最後に、利益配分の実績と予想です。
- 2020年3月期の期末配当は、当期純利益が業績予想を上回ったため、昨年11月に公表した配当予想の一株当たり107円から8円50銭引き上げて、115円50銭で、株主総会へ上程します。中間配当金86円50銭と合わせて年間配当金は202円となり、2円50銭の増配となります。
- 今年度の利益配分は、基本方針に即し、総還元性向100%以内を原則としますが、先ほどご説明した通り、通期の業績予想は見送りましたので、中間配当までの予想とし、期末配当および自己株式取得額の公表予想は見送らせていただきます。
- 中間配当は第2四半期累計の業績予想に基づき、65円50銭の予想としております。
- 私からの説明は以上です。今後も皆様のご期待に応え続けられるよう、努力して参ります。引き続き、ご理解、ご支援の程、宜しくお願い致します。ご清聴、ありがとうございました。

4. ご参考資料

2020年3月期業績 各社別

	エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
(百万円未満切捨て)					
売上高	75,297	21,383	2,889	127	1,639
前期比 増減額	+1,260	+2,047	+58	+18	▲123
前期比 増減率	+1.7%	+10.6%	+2.1%	+17.1%	▲7.0%
営業利益	10,382	1,944	186	△2	434
前期比 増減額	+224	+210	+13	+2	▲125
前期比 増減率	+2.2%	+12.1%	+7.9%	—	▲22.4%
経常利益	11,290	1,945	186	△2	432
当期純利益	8,112	1,461	120	△2	279

業績推移 グループ連結

(百万円)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
売上高	83,223	82,229	82,102	79,898	53,776	61,790	66,955	70,330	74,906	82,136	87,888	89,979	93,618	97,736	100,995
売上原価	56,685	57,701	57,777	57,177	46,765	48,832	49,875	51,639	55,370	60,481	64,661	66,417	69,250	71,701	73,823
原価率	68.1%	70.2%	70.4%	71.6%	87.0%	79.0%	74.5%	73.4%	73.9%	73.6%	73.6%	73.8%	74.0%	73.4%	73.1%
売上総利益	26,538	24,528	24,324	22,720	7,010	12,957	17,079	18,691	19,536	21,654	23,227	23,561	24,368	26,035	27,171
販売費及び一般管理費	14,053	12,946	12,959	13,439	11,939	10,337	11,629	12,337	12,556	12,114	12,352	12,418	12,910	13,399	14,245
販管費率	16.9%	15.7%	15.8%	16.8%	22.2%	16.7%	17.4%	17.5%	16.8%	14.7%	14.1%	13.8%	13.8%	13.7%	14.1%
営業利益	12,485	11,581	11,365	9,280	▲4,928	2,620	5,450	6,354	6,979	9,540	10,874	11,142	11,458	12,635	12,926
営業利益率	15.0%	14.1%	13.8%	11.6%	▲9.2%	4.2%	8.1%	9.0%	9.3%	11.6%	12.4%	12.4%	12.2%	12.9%	12.8%
営業外収益	137	74	84	87	4,729	2,146	114	97	50	113	29	20	19	15	55
営業外費用	59	169	115	107	77	178	32	24	51	10	58	17	11	7	6
経常利益	12,562	11,487	11,334	9,260	▲276	4,588	5,531	6,427	6,978	9,643	10,845	11,145	11,465	12,643	12,975
経常利益率	15.1%	14.0%	13.8%	11.6%	▲0.5%	7.4%	8.3%	9.1%	9.3%	11.7%	12.3%	12.4%	12.2%	12.9%	12.8%
特別利益	538	5	6	13	32	378	—	58	—	20	1,084	31	337	26	—
特別損失	2,235	5,092	1,826	1,094	130	234	4	215	146	3,621	65	45	262	18	3
税金等調整前当期純利益	10,866	6,400	9,514	8,178	▲374	4,732	5,526	6,270	6,832	6,041	11,865	11,131	11,541	12,651	12,971
税金費用等	5,563	6,105	4,556	3,875	530	1,041	2,699	277	2,858	2,381	3,781	3,193	3,409	3,822	3,878
親会社株主に帰属する当期純利益	5,302	295	4,958	4,303	▲904	3,690	2,827	5,993	3,973	3,659	8,083	7,937	8,132	8,829	9,093
純利益率	6.4%	0.4%	6.0%	5.4%	▲1.7%	6.0%	4.2%	8.5%	5.3%	4.5%	9.2%	8.8%	8.7%	9.0%	9.0%

43

業績推移 メイテック

(百万円)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
売上高	61,425	61,795	62,956	60,457	41,319	48,260	53,188	55,822	58,876	64,675	68,878	70,083	72,252	74,036	75,297
売上原価	42,380	43,134	43,875	43,109	36,074	38,777	39,987	41,240	43,742	47,857	50,884	52,013	53,861	54,620	55,138
原価率	69.0%	69.8%	69.7%	71.3%	87.3%	80.4%	75.2%	73.9%	74.3%	74.0%	73.9%	74.2%	74.5%	73.8%	73.2%
売上総利益	19,045	18,660	19,081	17,348	5,245	9,482	13,200	14,582	15,134	16,817	17,994	18,069	18,391	19,416	20,159
販売費及び一般管理費	7,913	8,039	8,620	8,540	8,210	7,758	8,587	9,179	9,382	8,891	8,932	8,856	9,048	9,258	9,776
販管費率	12.9%	13.0%	13.7%	14.1%	19.9%	16.1%	16.1%	16.4%	15.9%	13.7%	13.0%	12.6%	12.5%	12.5%	13.0%
営業利益	11,131	10,621	10,460	8,807	▲2,964	1,724	4,613	5,402	5,751	7,925	9,061	9,213	9,342	10,157	10,382
営業利益率	18.1%	17.2%	16.6%	14.6%	▲7.2%	3.6%	8.7%	9.7%	9.8%	12.3%	13.2%	13.1%	12.9%	13.7%	13.8%
営業外収益	458	4,988	356	564	3,840	1,976	389	314	426	523	517	601	769	769	913
営業外費用	33	109	48	76	53	150	14	19	426	10	52	16	6	6	5
経常利益	11,556	15,500	10,768	9,294	822	3,550	4,988	5,698	6,149	8,438	9,526	9,798	10,105	10,921	11,290
経常利益率	18.8%	25.1%	17.1%	15.4%	2.0%	7.4%	9.4%	10.2%	10.4%	13.0%	13.8%	14.0%	14.0%	14.8%	15.0%
特別利益	102	5	3	7	2	3	—	462	—	324	1,088	200	364	16	—
特別損失	132	10,202	2,084	2,912	626	318	66	228	372	3,673	50	222	261	52	2
税引前当期純利益	11,526	5,304	8,687	6,389	197	3,236	4,921	5,932	5,776	5,089	10,563	9,776	10,208	10,885	11,287
税金費用等	4,706	5,388	3,749	3,391	144	1,094	2,331	▲124	2,352	1,749	3,171	2,702	2,747	3,117	3,174
当期純利益	6,820	▲83	4,938	2,998	53	2,141	2,590	6,056	3,425	3,340	7,391	7,073	7,461	7,768	8,112
純利益率	11.1%	▲0.1%	7.8%	5.0%	0.1%	4.4%	4.9%	10.8%	5.8%	5.2%	10.7%	10.1%	10.3%	10.5%	10.8%

44

業績推移 メイテックフィルダース

(百万円)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
売上高	10,382	10,748	10,747	10,582	7,050	8,175	8,510	9,349	10,587	11,911	13,327	14,865	16,981	19,336	21,383
売上原価	7,655	7,888	7,759	7,744	6,621	6,361	6,387	7,061	8,084	9,154	10,288	11,540	13,173	14,941	16,476
原価率	73.7%	73.4%	72.2%	73.2%	93.9%	77.8%	75.1%	75.5%	76.4%	76.9%	77.2%	77.6%	77.6%	77.3%	77.1%
売上総利益	2,727	2,859	2,987	2,837	429	1,814	2,122	2,287	2,502	2,757	3,039	3,325	3,808	4,394	4,906
販売費及び一般管理費	1,357	1,551	1,677	2,018	1,890	1,238	1,585	1,639	1,646	1,682	1,834	1,978	2,351	2,660	2,962
販管費率	13.1%	14.4%	15.6%	19.1%	26.8%	15.1%	18.6%	17.5%	15.5%	14.1%	13.8%	13.3%	13.8%	13.8%	13.9%
営業利益	1,369	1,308	1,310	819	▲1,461	575	537	648	856	1,073	1,204	1,346	1,456	1,734	1,944
営業利益率	13.2%	12.2%	12.2%	7.7%	▲20.7%	7.0%	6.3%	6.9%	8.1%	9.0%	9.0%	9.1%	8.6%	9.0%	9.1%
営業外収益	3	3	10	6	848	182	3	3	1	—	—	1	—	1	1
営業外費用	—	1	1	—	5	1	—	—	15	—	—	1	4	—	—
経常利益	1,373	1,310	1,319	825	▲618	757	540	651	841	1,074	1,205	1,346	1,452	1,735	1,945
経常利益率	13.2%	12.2%	12.3%	7.8%	▲8.8%	9.3%	6.3%	7.0%	7.9%	9.0%	9.0%	9.1%	8.6%	9.0%	9.1%
特別利益	6	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—
特別損失	3	4	5	13	2	1	—	—	—	5	7	—	—	—	—
税引前当期純利益	1,376	1,306	1,314	811	▲620	756	540	651	841	1,068	1,198	1,346	1,453	1,735	1,945
税金費用等	560	537	544	344	313	▲187	264	272	358	420	412	301	422	444	484
当期純利益	816	768	769	467	▲933	943	275	378	483	648	786	1,045	1,031	1,291	1,461
純利益率	7.9%	7.1%	7.2%	4.4%	▲13.2%	11.5%	3.2%	4.0%	4.6%	5.4%	5.9%	7.0%	6.1%	6.7%	6.8%

45

業績推移 メイテックネクスト

(百万円)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
売上高		8	252	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321	1,483	1,662	1,762	1,639
売上原価															
原価率															
売上総利益		8	252	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321	1,483	1,662	1,762	1,639
販売費及び一般管理費		207	470	559	349	333	446	512	577	746	887	966	1,116	1,203	1,204
販管費率		2,587.5%	186.5%	116.5%	104.5%	76.0%	75.2%	69.8%	66.2%	66.0%	67.1%	65.1%	67.2%	68.2%	73.5%
営業利益		▲198	▲217	▲78	▲14	104	147	221	295	385	433	517	545	559	434
営業利益率		▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲4.2%	23.7%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%	34.9%	32.8%	31.8%	26.5%
営業外収益		—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
営業外費用		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
経常利益		▲198	▲217	▲78	▲12	106	147	221	295	385	433	517	545	559	432
経常利益率		▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲3.6%	24.2%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%	34.9%	32.8%	31.7%	26.4%
特別利益		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前当期純利益		▲198	▲217	▲78	▲13	106	147	221	295	385	433	517	544	559	432
税金費用等		—	—	1	—	—	—	19	95	141	145	182	193	198	152
当期純利益		▲199	▲217	▲79	▲14	105	147	201	200	243	288	334	350	361	279
純利益率		▲2,487.5%	▲86.1%	▲16.5%	▲4.2%	24.0%	24.8%	27.4%	22.9%	21.5%	21.8%	22.6%	21.1%	20.5%	17.1%

46

バランスシート推移 グループ連結

(百万円)	2007/3/31	2008/3/31	2009/3/31	2010/3/31	2011/3/31	2012/3/31	2013/3/31	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31	2018/3/31	2019/3/31	2020/3/30
現金・預金	16,177	18,512	18,526	14,732	23,999	26,686	26,592	30,104	34,773	35,413	37,259	41,753	45,052	47,033
受取手形・売掛金	13,256	12,841	10,985	9,582	10,245	10,675	10,887	11,297	12,858	13,823	13,400	13,816	13,884	14,696
流動資産合計	35,564	35,356	33,295	28,444	37,661	40,643	41,802	44,998	51,639	53,104	54,742	59,325	60,036	62,679
有形固定資産	14,548	13,374	12,818	12,069	11,688	11,257	10,908	10,555	7,207	5,721	5,552	5,399	5,402	5,332
固定資産合計	21,914	22,428	20,934	19,180	18,053	16,915	16,199	16,447	13,458	11,363	11,634	11,608	14,579	14,814
資産合計	57,479	57,784	54,230	47,625	55,714	57,559	58,002	61,445	65,098	64,468	66,377	70,934	74,615	77,493
流動負債合計	12,559	13,764	11,026	6,392	10,016	11,165	9,683	12,589	15,797	13,650	14,662	16,176	16,927	17,228
固定負債合計	6,236	6,422	7,034	7,789	8,603	9,183	9,895	12,667	11,735	13,212	13,860	14,617	15,317	15,937
負債合計	18,795	20,186	18,061	14,181	18,619	20,349	19,579	25,257	27,532	26,862	28,523	30,794	32,244	33,166
株主資本	39,144	38,048	36,747	34,101	37,745	38,017	39,264	38,299	39,619	39,973	39,970	42,078	44,173	45,950
その他	▲461	▲449	▲577	▲658	▲651	▲808	▲841	▲2,111	▲2,054	▲2,367	▲2,116	▲1,939	▲1,802	▲1,623
純資産合計	38,683	37,598	36,169	33,443	37,094	37,209	38,422	36,188	37,565	37,605	37,854	40,139	42,371	44,327

営業活動CF	6,010	8,486	6,308	▲1,545	9,291	5,753	5,205	8,893	8,434	6,910	10,186	10,957	10,273	9,837
投資活動CF	▲955	124	623	▲19	287	▲292	▲465	▲398	▲275	1,487	▲325	▲464	▲240	▲536
財務活動CF	▲8,366	▲5,997	▲5,580	▲1,835	▲104	▲2,769	▲4,837	▲4,991	▲3,495	▲7,752	▲8,011	▲5,999	▲6,734	▲7,319
現預金の増減額	▲3,303	+2,634	+1,313	▲3,394	+9,467	+2,691	▲93	+3,511	+4,668	+643	+1,845	+4,493	+3,298	+1,980

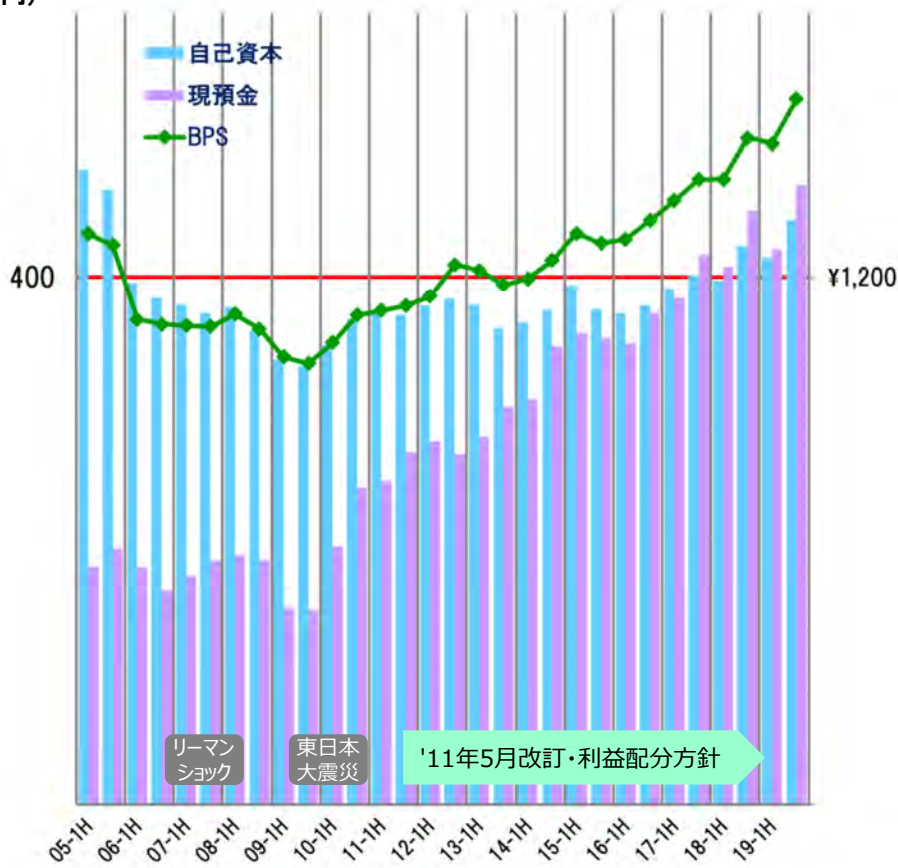
47

利益配分実績と予想

(百万円未満・四捨五入)	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
総還元性向(連結)	—	24.7%	92.9%	99.0%	101.2%	116.8%	100.0%	100.1%	80.0%	80.0%	80.0%	
配当性向(連結)	—	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	53.5%	55.2%	61.8%	63.3%	61.5%	
純資産配当率(連結)	2.4%	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%	11.6%	12.9%	13.6%	12.9%	
年間配当												
1株当たり	@¥24.50	@¥27.50	@¥58.50	@¥99.00	@¥72.00	@¥111.00	@¥144.00	@¥151.50	@¥177.00	@¥199.50	@¥202.00	
金額(百万円)	812	911	1,925	3,134	2,220	3,373	4,286	4,344	5,008	5,567	5,575	
中間配当												
1株当たり	@¥24.50		@¥29.00	@¥30.00	@¥31.50	@¥44.00	@¥63.00	@¥68.00	@¥74.50	@¥84.00	@¥86.50	@¥65.50
金額(百万円)	812		961	981	983	1,344	1,908	1,968	2,119	2,344	2,387	1,808
期末配当												
1株当たり		@¥27.50	@¥29.50	@¥69.00	@¥40.50	@¥67.00	@¥81.00	@¥83.50	@¥102.50	@¥115.50	@¥115.50	
金額(百万円)		911	965	2,153	1,237	2,029	2,378	2,375	2,889	3,223	3,188	
自己株式取得												
株数(千株)			421	1,506	641	269	921	915	257	280	303	
金額(百万円)			700	2,800	1,800	899	3,799	3,600	1,500	1,500	1,700	
総利益配分額(百万円)	812	911	2,625	5,934	4,020	4,273	8,086	7,944	6,508	7,067	7,275	
株式消却												
株数(千株)			400	1,700	500	300	900	1,300		700	300	
株価												
期初4月1日	¥1,242	¥1,893	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965	¥3,865	¥4,505	¥5,960	¥5,130	¥4,065
期末3月31日	¥1,831	¥1,664	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	¥3,935	¥4,520	¥5,890	¥5,030	¥4,300	
1株当たり当期純利益	@¥▲27.30	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥120.12	@¥269.24	@¥274.32	@¥286.64	@¥315.43	@¥328.36	
1株当たり純資産	@¥1,002.58	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85	@¥1,238.78	@¥1,278.59	@¥1,330.57	@¥1,424.01	@¥1,518.42	@¥1,606.03	

48

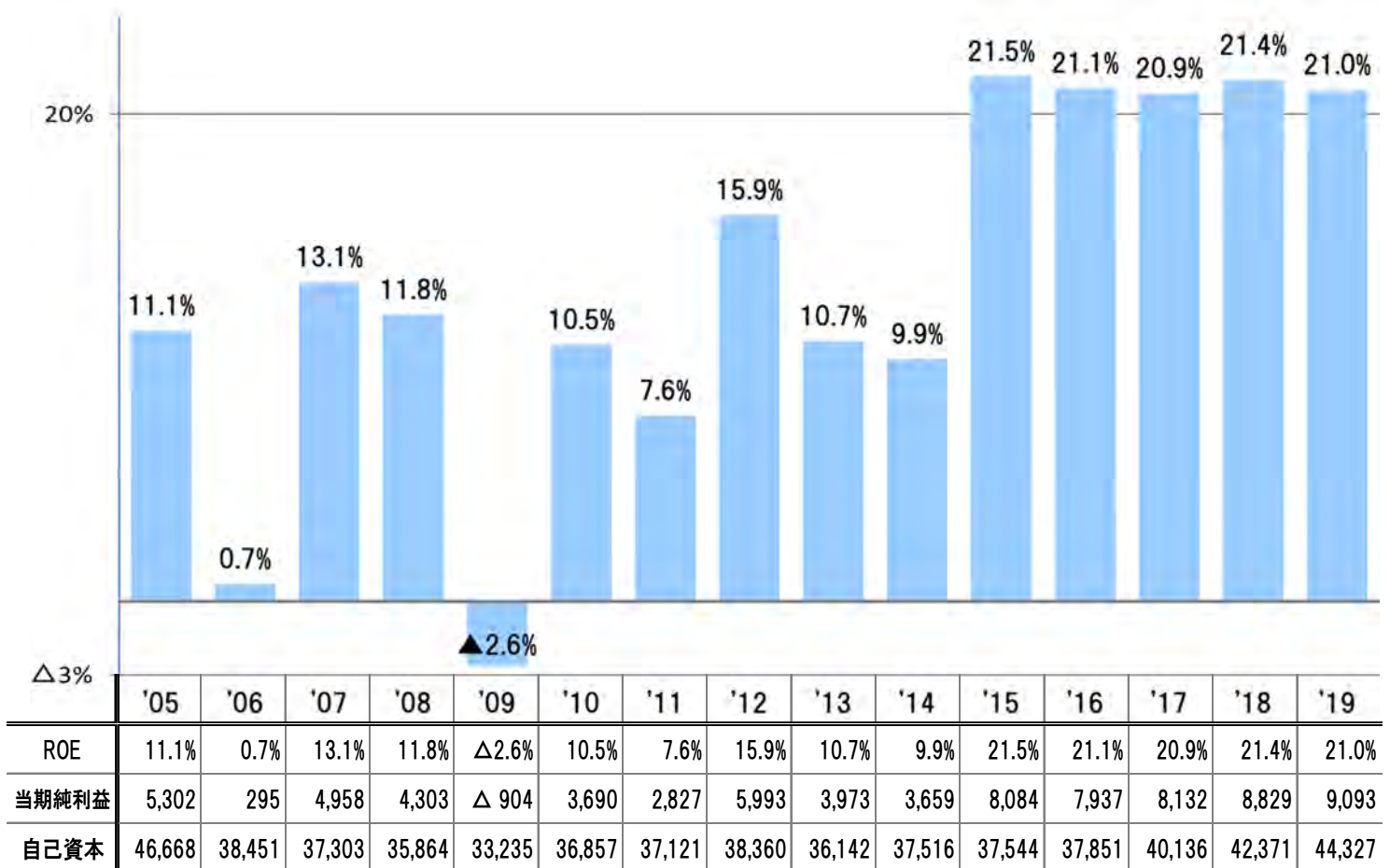
(億円)



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠
→エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

49

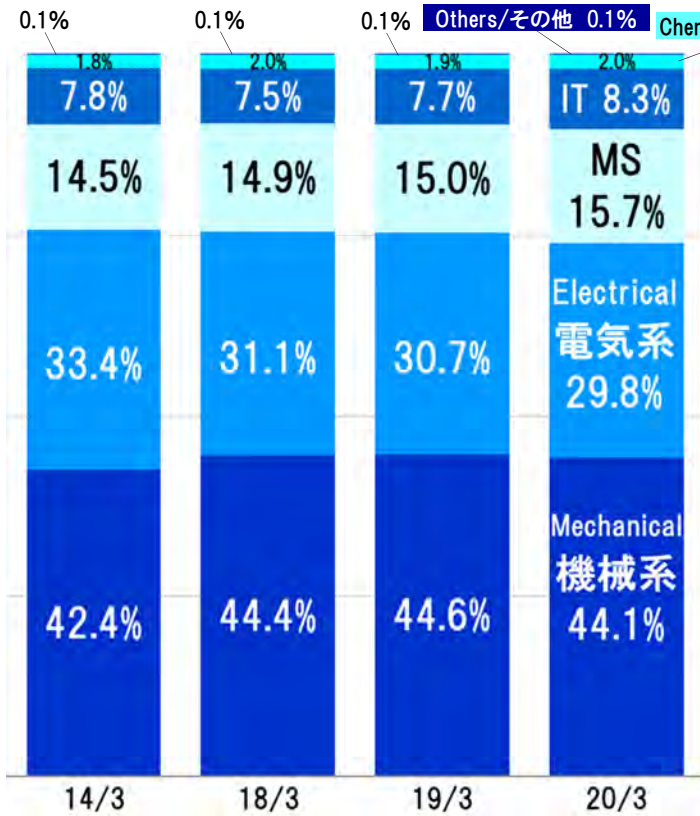
連結自己資本当期純利益率:ROE



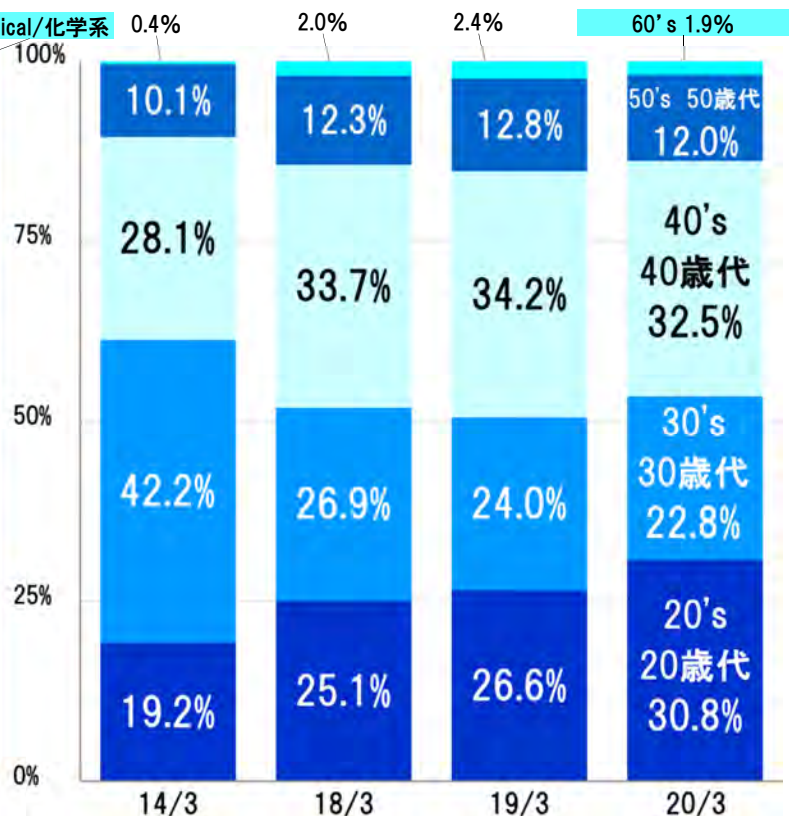
50

エンジニアの構成 メイテック

技術分野/Technical field



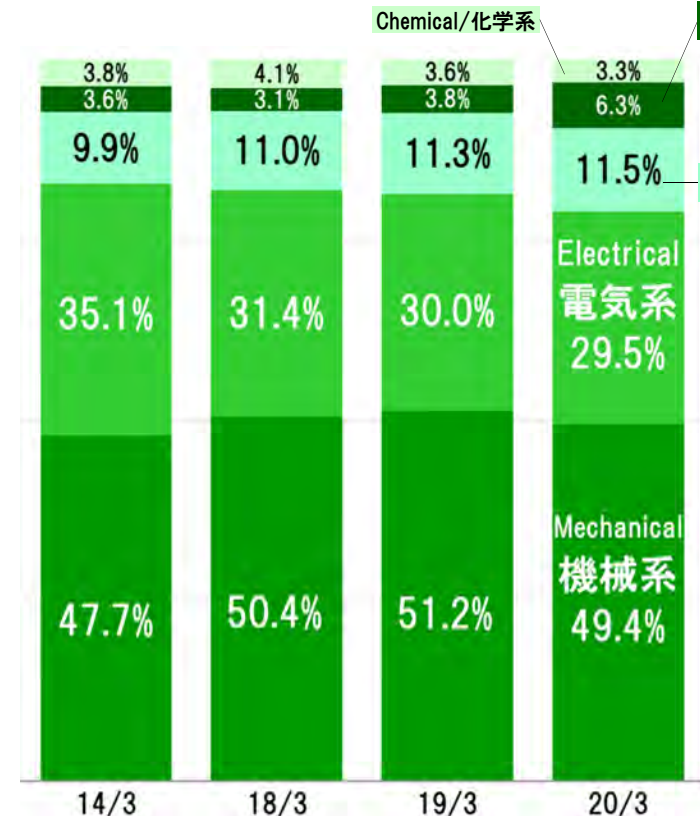
年齢/According to age



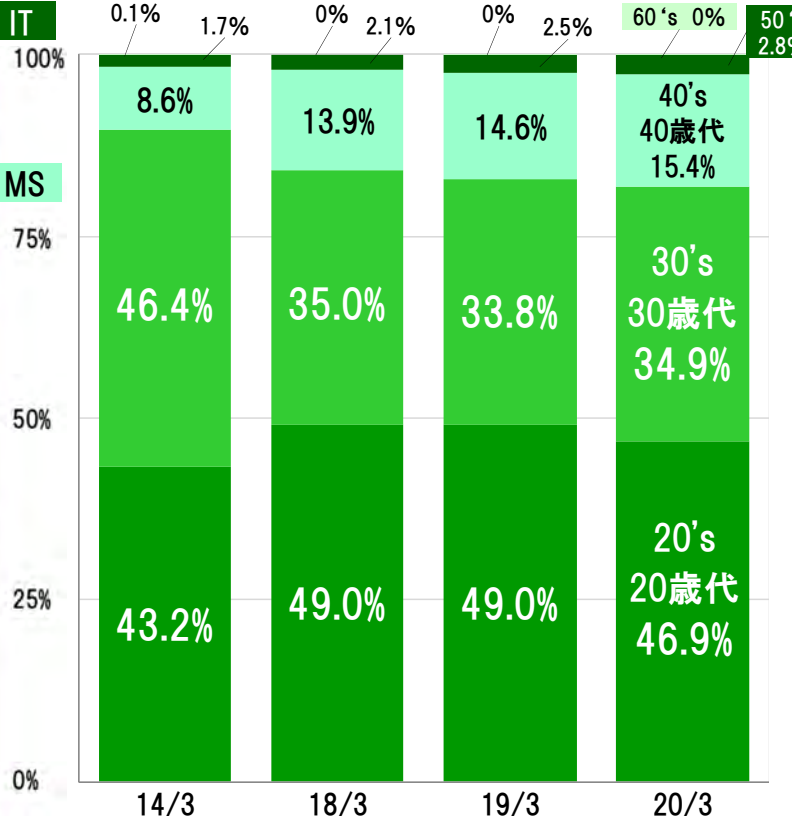
MS: Micro Computer System

エンジニアの構成 メイテックフィルダース

技術分野/Technical field



年齢/According to age



MS: Micro Computer System

業種別売上高推移 メイテック

(百万円)

メイテック	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	18,266	19,555	21,183	22,214	22,513	29.9%	+299	+1.3%
航空機・ロケット関連	5,629	5,565	5,026	4,646	4,636	6.2%	△ 9	△0.2%
産業用機器、機械器具および装置関連	10,215	10,331	10,123	10,425	10,544	14.0%	+119	+1.1%
精密機器関連	4,982	5,245	5,809	6,389	7,069	9.4%	+680	+10.7%
情報通信機器関連	4,872	4,254	4,005	3,831	3,615	4.8%	△ 216	△5.6%
電気・電子機器、電気機械器具設計	8,270	8,193	8,405	8,172	7,831	10.4%	△ 340	△4.2%
半導体・集積回路関連	4,280	4,024	4,088	4,159	3,962	5.3%	△ 196	△4.7%
半導体製造装置関連	1,919	2,043	2,345	2,649	2,698	3.6%	+48	+1.8%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	4,886	5,008	5,233	5,347	5,778	7.7%	+431	+8.1%
プラント関連	2,346	2,518	2,547	2,608	2,823	3.7%	+214	+8.2%
建築関連	374	373	389	357	295	0.4%	△ 61	△17.3%
その他	2,835	2,968	3,094	3,234	3,526	4.7%	+292	+9.0%
合計	68,878	70,083	72,252	74,036	75,297	100.0%	+1,260	+1.7%

53

業種別売上高推移 メイテックフィルダース

(百万円)

メイテックフィルダース	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	4,981	5,455	5,843	6,406	6,761	31.6%	+355	+5.5%
航空機・ロケット関連	251	366	388	359	401	1.9%	+41	+11.7%
産業用機器、機械器具および装置関連	1,929	2,157	2,621	3,280	3,984	18.6%	+704	+21.5%
精密機器関連	1,666	1,760	2,149	2,395	2,709	12.7%	+314	+13.1%
情報通信機器関連	452	565	651	693	782	3.7%	+89	+12.9%
電気・電子機器、電気機械器具設計	1,656	1,827	1,984	2,169	2,231	10.4%	+62	+2.9%
半導体・集積回路関連	505	511	610	690	702	3.3%	+11	+1.7%
半導体製造装置関連	536	672	950	1,311	1,351	6.3%	+39	+3.0%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	341	336	466	513	766	3.6%	+252	+49.1%
プラント関連	473	561	588	601	710	3.3%	+108	+18.0%
建築関連	16	22	83	103	11	0.1%	△ 91	△88.6%
その他	516	628	642	809	969	4.5%	+159	+19.7%
合計	13,327	14,865	16,981	19,336	21,383	100.0%	+2,046	+10.6%

54

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、
お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、
そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の
双方において、“核心”を担える集団であり続けます。

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

55

Engineering Firm

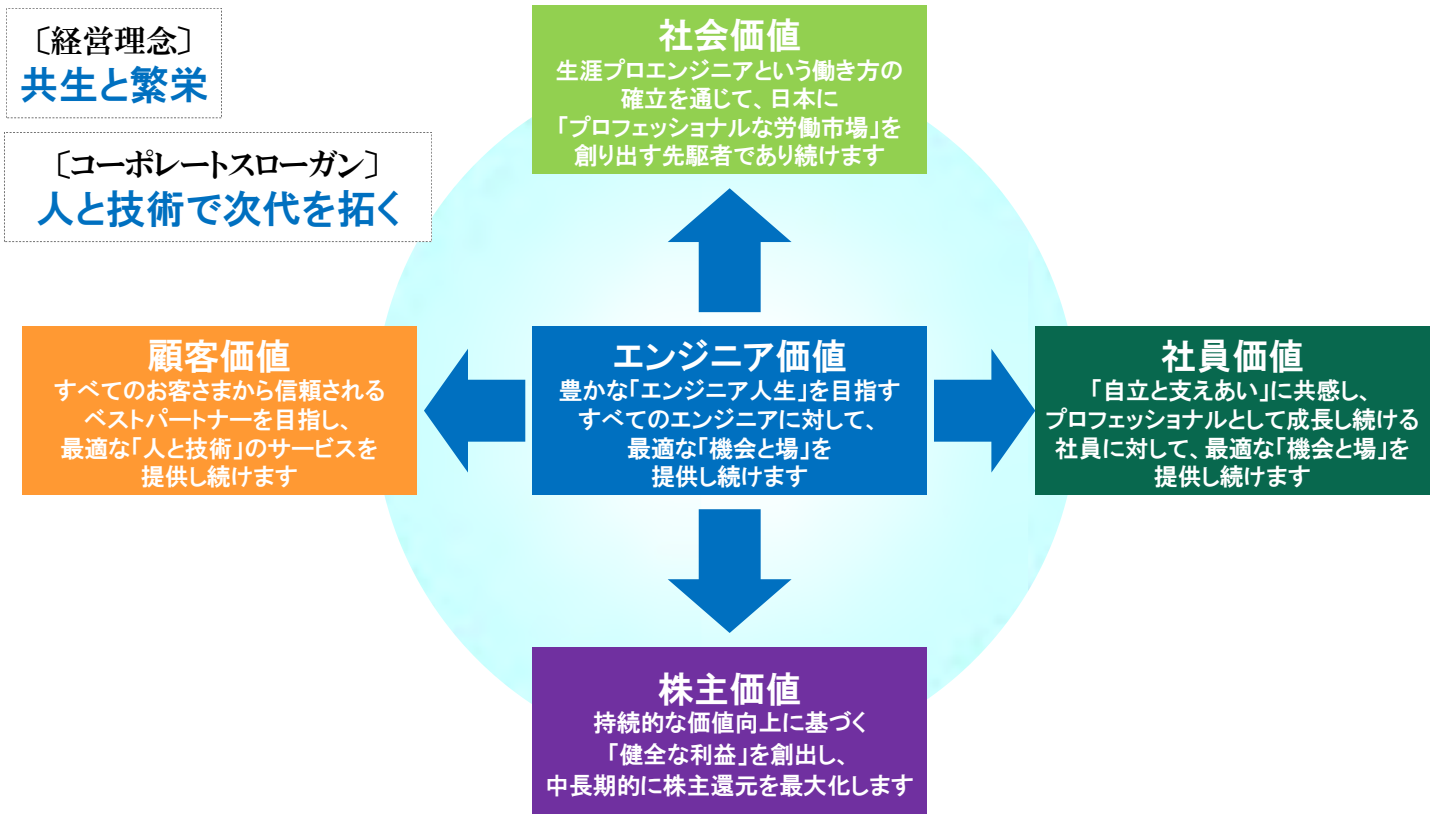
メイテックグループの社員一人ひとりが
「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、
成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

The Core

製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を
創り出す存在であること

世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、
「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

私たちメイテックグループは、全社員がつながりあい、
エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます



57

コーポレート・ガバナンス

I. 会社の機関

1. 組織形態 監査役設置会社

2. 会社独自の取り組み

① コーポレートガバナンス委員会 委員長: 社外取締役、委員: 取締役全員

- ・取締役会の実効性に関する分析・評価
- ・ガバナンス等の基本事項ほかの協議

② 役員人事諮問委員会 委員長: 社外取締役、委員: CEOと社外取締役

プロセスの適正性の評価

- ・代表取締役CEOの選解任
- ・社内業務執行取締役のパフォーマンス評価
- ・取締役・監査役候補者の指名
- ・社内業務執行取締役の報酬

CEO候補者選考協議会

II. 取締役・監査役(2020年3月31日現在)

	取締役	監査役	合計	
人数	9	4	13	
うち独立社外	4	4	8	構成の方針
比率	44%	100%	62%	> 出席者の1/3以上

III. 役員報酬

固定報酬

	改正: 2019年3月26日～	
代表取締役社長 グループCEO、CEO兼COO	年額 28,800千円	(月額 2,400千円)
取締役副社長	年額 24,000千円	(月額 2,000千円)
取締役	年額 19,200千円	(月額 1,600千円)
社外取締役	年額 9,000千円	(月額 750千円)
常勤監査役	年額 24,000千円	(月額 2,000千円)
非常勤監査役	年額 7,800千円	(月額 650千円)

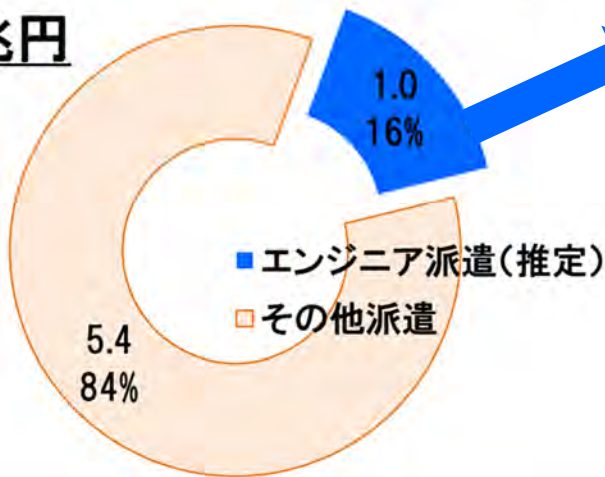
取締役(のみ)に対する業績連動報酬など

	改正: 2016年4月1日～	
連結当期純利益(業績連動 役員報酬を含まない)金額の	2.5%	
	上限: 年額250百万円	
うち社外取締役	支給対象外	
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 (役員持株会方式)	

58

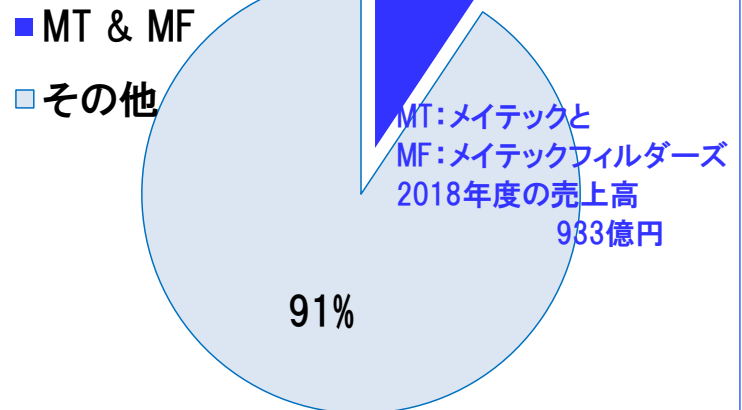
2018年度の労働者派遣事業・売上高

6.4兆円



エンジニア派遣市場(推定)

推定1.0兆円



2020年3月

メイテック

¥5,286

メイテックフィルダーズ

¥3,806

エンジニア派遣
(推定)

約¥3,700

出所:厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。

注:当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

59

株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2020年3月31日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	8	0.2%	295,511	1.0%
信託銀行	19	0.4%	8,383,100	28.9%
生保・損保会社	31	0.6%	3,610,583	12.5%
証券金融・その他金融会社	5	0.1%	35,260	0.1%
証券会社	30	0.6%	347,005	1.2%
事業会社・その他法人	71	1.5%	156,805	0.5%
外国法人・外国人	250	5.1%	12,068,934	41.6%
個人その他	4,473	91.5%	4,102,802	14.2%
合計	4,887	100.0%	29,000,000	100.0%

本 社	東京都台東区
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証1部)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,200社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市41拠点
グループ会社	<p>【エンジニアリングソリューション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社メイテックフィルダーズ ■ 株式会社メイテックキャスト ■ 株式会社メイテックEX ■ 株式会社メイテックビジネスサービス <p>【エンジニア紹介事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社メイテックネクスト

トップメッセージ

一社でも多くのお客さまに、
 一人でも多くのエンジニアに、
 メイテックグループを活用いただき、
 感動や喜びを実感できる
 「機会と場」の拡大を目指します。

代表取締役社長
 メイテックグループCEO 國分 秀世

